

(2) とよつだより

平成 26 年度 [第 32 号](#) [第 33 号](#) [第 34 号](#)

平成 27 年度 [第 35 号](#) [第 36 号](#) [第 37 号](#)

平成 28 年度 [第 38 号](#) [第 39 号](#) [第 40 号](#)

平成 29 年度 [第 41 号](#) [第 42 号](#) [第 43 号](#)

平成 30 年度 [第 44 号](#) [第 45 号](#) [第 46 号](#)

令和 元 年度 [第 47 号](#) [第 48 号](#) [第 49 号](#)

令和 2 年度 [第 50 号](#) [第 51 号](#) [第 52 号](#)

令和 3 年度 [第 53 号](#) [第 54 号](#) [第 55 号](#)

令和 4 年度 [第 56 号](#) [第 57 号](#) [第 58 号](#)

令和 5 年度 [第 59 号](#) [第 60 号](#) [第 61 号](#)

令和 6 年度 [第 62 号](#) [第 63 号](#)

第 3 2 号

平成26年6月15日発行
—編集・発行—
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

題字：藤枝泰一郎氏

とよつだより

第32回霞ヶ浦浄化キャンペーン 北浦一周サイクリング 全員完走!



暑かっただけどいい気持ち
絶好の天気の下
北浦一周(半周?)



白鳥の里で参加者の記念写真

五月十七日(土)午前八時三十分、今年も北浦一周サイクリングがスタートしました。風もない好天に恵まれましたが、五月にしては暑過ぎるともいえる気温の中、午後二時には豊津小学校へ到着。無事、参加者全員、予定した三十八キロを完走しました。(P2に関連記事)

新たな十年へ

豊津地区まちづくり委員会委員長 飯島亘隆

青田の候、益々ご清栄のことと拝察いたします。また、豊津地区まちづくり委員会の活動には、常日頃からご協力をいただき厚く御礼申し上げます。まちづくり委員会も発足してから十一年が過ぎ、地域が運営する『地域管理型』に移行して、九十年が経過しました。豊津地区まちづくり委員会におきましては、現在、十周年記念誌を編纂中です。

さて、生物界の覇者(?)哺乳動物の乳房も、原点を探ると、「獲物獲得の滑り止め」から「体温調節の汗腺」、さらに「授乳器官」と変化しました。生物は、遺伝子の獲得により後世に継承されますが、進化か否かは、活用次第の様です。

君和田毅さんを迎えて

豊津まちづくりセンター長 高安広子

麦秋の候、皆様には豊津地区まちづくり委員会事業にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

平成二十六年度も、役員会、そして四つの専門部(地域環境・文化福祉・スポーツ健康づくり・広報記録)の皆様、地域の皆様のご協力で、豊かな地域づくり、絆づくりにつながることを願いつつ、住民主体のまちづくり委員会活動がスタートしました。

私たちセンター職員も一丸となり、微力ながらも頑張りますので、どうぞよろしく願います。さらに、この四月一日の市の人事異動で、君和田毅さんを迎えました。行政へのパイプ役として、また地域のコーディネーターとして勤務しますので、お気軽に豊津まちづくりセンターにお越しください。どうぞよろしく願います。

北浦一周サイクリング ミニドキュメント

平成二十六年五月十七日(土)



8:30 豊津小出発



8:00 開会式 委員長あいさつ

四谷付近まだまだ元気

沼尾付近 好天
気で良い気持ち



北浦大橋見えてきた



白浜少年自然の家で昼食・集合写真



草笛



石投

水原・白鳥の里で一休み



あとちょっと。頑張れ!



14:00 豊津小へゴール



閉会式 箕輪先生の講評



にせ警官、
今年も参上!

完走賞

六年連続で
走りました



藤枝元輝くん

松岡綺羅さん

完走賞の感想

元輝くん：苦しいときもあったけど、頑張って良かったです。
綺羅さん：苦しかったけれど、うれしいです。

館山ウォーキング

平成二十六年五月二十四日、素晴らしい景色の中、素晴らしすぎるほどの天候に恵まれ、豊津悠々健康づくりイベントとして、「館山ウォーキング」を実施しました。

初夏の房総・館山湾の景色を楽しみ、日頃のストレスから解放される、とてもリフレッシュできるウォーキングを、みんなで楽しむことができました。

☆ コース ☆
豊津公民館 ↓ 道楽園(休憩) ↓ 洲崎灯台(東京湾と太平洋を見渡せる灯台) ↓ 館山城 ↓ 昼食 ↓ 崖観音(崖壁の十一面観世音菩薩) ↓ 鋸山大仏(医薬の仏様) ↓ 金谷売店(休憩) ↓ 豊津公民館



今年のこのウォーキングは、素晴らしい景色の中を歩き、パワースポットである医薬の大仏様・崖の観音様を巡る、とても清々しい一日となりました。今回のルートは、坂や階段等、アップダウンする場所が多く、多くの方には良い筋トレになったようです。その結果、帰りのバスの中では、疲れと快適な揺れで、グッスリと休んでいた人が多かった様な気がしました。とても充実した館山ウォーキングでした。(参加者三十一人)

豊津地区ソフトボール大会

6月8日 ト伝の郷運動公園

雨降りしきる中での開会式でしたが、試合開始と同時に小降りとなり、予定通り実施することができました。参加された皆様、お疲れ様でした。

<結果>

- 優勝 大船津第3区
- 準優勝 新田区



▲チームワークで嬉しいV

豊津地区高齢者スポーツ大会

六月三日、神野ふれあい公園

三種目に、総勢三十九名の参加で行われました。各種目の上位入賞者は、次のとおりです。

【グラウンドゴルフの部】

- 優勝 小沼やいさん
- 第二位 黒須はるさん
- 第三位 笹本キヨ子さん

【クローケーの部】

- 優勝 新田Bチーム
- 第二位 大船津Bチーム
- 第三位 大船津Aチーム

【輪投げの部】

- 優勝 遠藤実さん
- 第二位 高安茂さん
- 第三位 藤枝栄子さん



とよつかるためぐり シリーズ⑬

ま 松岡塾
漢学 裁縫
行儀 見習

『松岡塾』。教育者の家系の松岡重喜氏から始まった「豊津地区の教育」の歴史です。

江戸時代の末期、松岡家で開いていた宝鏡院(ほうきょういん)というお寺が、地域の寺子屋として、漢学・書道等の「学びの場」になっていったのが始まりのようです。

明治時代に入り、学校制度が設立され、その当時の大船津地区に設けられた大船津小学校(明治十一年九月五日創立)の初代校長を重喜氏、二代目校長を重頭氏と、松岡家が担っていたという歴史があります。※明治二十二年に「豊津村」となったことから、大船津小学校から豊津小学校に改称されました。



◎とよつかるたを通し、地域の歴史文化を知り、幾つになっても学びの心を忘れずに過ごしたいものです。

『とよつクリーン』にご協力を！

豊津の自然環境を守りながらいつまでも潤いのある地域としてゴミのない環境作りを進めるため、豊津地区では『豊津クリーン』を年三回行っています。今年度も五月十一日に実施し、今後は八月と一月に実施を予定していますので、市で行う環境美化活動(市内一斉清掃)と同じように多くの方の参加をお願いします。



5月11日の活動の様子(爪木・大船津第2)



今年度の区長さんです

よろしくお願ひします



- ・大船津新田区 内田 早苗さん
- ・大船津第一区 内野 安彦さん
- ・大船津第二区 安重 松雄さん
- ・大船津第三区 木村 正彦さん
- ・爪木区 君和田 昇さん

(※写真右から順に)

『うらら会』ってご存知でしたか？

平成十七年に発足した豊津地区社会福祉協議会(会長・君和田君江さん)の愛称が、『うらら会』です。

『うらら会』の事業目的は、「一人暮らしの高齢者等が地域住民とのふれあいを通じて、地域での疎外感を解消し、生きがいや介護予防を促進すること」としており、年間を通して、食事会やクリスマス会、移動楽習会などの事業を開催しています。今年度も各種事業が予定されており、既に六月六日には東京・巣鴨へ移動学習を行ってきました。活動趣旨に賛同される方は、ぜひご協力をお願いします。



▲5月9日に行われた支援会議

豊津まちづくりセンターに ニューフェイス！

平成二十六年四月一日付の市人事異動により、豊津まちづくりセンターに市職員が配属されました。

これは、①市民協働のまちづくりの推進、②まちづくりセンター機能の充実と強化、という大きく二つの点を目的とし、豊津地区とはまなす地区の二つがモデル地区に選定され、市職員が配属されたものです。

これまでのセンター職員同様、新しく配属された貴重な戦力・君和田主任をどうぞよろしくお願ひします。



▲(左から)高城 安城、黒長委、須長員、主君、事和田、藤主事、城幹事、主事、本

リトルファーム(夏野菜種まき・苗植え)

五月十日(土)、とよつキッズの『リトルファーム』が、文化福祉専門部員の指導のもとにスタートしました。



畑には、スイカ・ピーマン・ミニトマトの苗を植え、トウモロコシ・枝豆の種をまきました。当日は天気に恵まれ、三世代計二十人の参加で、楽しく実施できました。また、作業後には、主事さん達手作りのカレーライスを美味しくいただきました。

どれだけ収穫できるか、今後の成長具合がとも楽しみみです。それまで、皆さんも時々見守ってください。

※『とよつキッズ』とは、鹿嶋市が実施する『放課後子ども教室事業』の豊津版。子ども達の安全安心な居場所作りを推進するもので、今年度は全十回の予定です。都度、かわら版(そよかぜ)で開催案内をします。次回は、六月二十九日(日)に男の料理と共催で「餃子作り」に挑戦です。 ※今年の農園は、笹本正嗣さん(故人)から寄付された土地を利用していただきました。笹本さん、ありがとうございます。

◆つばやき◆上述のとおり、新しい男性職員が加わりました。甘いマスク、テニスで鍛えた体力、楽しい話力に加え、冷静な判断力や財力(?)も持ち合わせる頼もしい存在だそうですね。心配なのは、女性の園で萎縮しないか。皆さん、お手柔らかにお願いします！

第 3 3 号
 平成26年11月1日発行
 一編集・発行一
 豊津地区まちづくり委員会
 (広報記録専門部)

とよつだより

つないだ手 みんなで楽しむ 運動会

～ 豊津小1年 木村文香さん～



組み体操2014

土ぼこりを舞い上げる強い風が吹いたものの、暖かな日差しも差すといった好天のもと、「第9回とよつふれあい運動会」が開催されました。例年どおり午前中は小学校の競技を中心に、午後からは児童は家族と合流し、一緒に地域の競技を行うというプログラムで行われました。児童たちは、連日の練習の成果を存分に発揮し、すばらしい演技を披露、喝さいを浴びました。紅白対抗リレーを初めとする競技では、真剣勝負が繰り広げられました。地域の方々に参加した競技はほとんどぶっつけ本番だったと思いますが、児童に負けない力の入った勝負が展開されました。普段使わない筋肉を一杯動かし、いい汗をかいていました。今年の優勝は爪木Aでしたが、勝負は僅差で、このチームにも優勝の可能性はあると思います。来年は十回目の記念大会ですので、更なる積極的な参加をお願いします。

第9回とよつふれあい運動会

涼風の中爽やかに汗を流しました

十月十一日(土)

おめでとう！
 優勝位位
 二三位
 爪木A
 船津
 船津
 船津
 船津
 船津
 船津



優勝した爪木Aのみなさん



子ども達が伸び伸び 有意義な一日
 大会長(豊津小学校長) 大川浩一

「とよつふれあい運動会」は、学校と地域との合同運動会であり、他の地区にはない、豊津の自慢の行事の一つでもあります。午前中は学校中心の運動会となりましたが、午後からは子ども達は地域に戻り、地域の一人として参加しました。子ども達が、伸び伸びと競技していたことがとても印象的でした。また、笑いのある和やかな雰囲気、スローガンの『みんなで楽しむ運動会』となりました。そして、地域の交流が一層深められ、有意義な一日となりました。

地域全員でつかんだ優勝

爪木区長 君和田昇

天候にも恵まれて、第九回とよつふれあい運動会が盛大に行われました。爪木区もAチームが優勝の栄えを得ることができ、たいへん喜びにたえません。役員さん、出場選手の皆さん、御苦勞様でした。また、見学・応援いただいた皆さん、ありがとうございました。

第9回とよつ
ふれあい運動会



運動会のコマ



着せあって
豊津



見る人の心に感動を生んだ、
小学校4～6年生の組み体操2014



どうぶつに
へんし〜ん



食いしん坊
パンざい
1位新田(区対抗)



五人九 1位
大船津第二
(区対抗)



区対抗リレー
運動会の花形区対抗リレーは
接戦の末、大船津第二が勝利
しました (区対抗)



クイズチャンピオン
優勝の大森さん
(新田)



塚原ト伝とよつ流
60歳以上の方々
がんばりました



髷校はん?



みんながんばれ



綱引き
力持ちNo.1は
爪木Aでした
(区対抗)

| 種目 | No. 4 五人九 | No. 11 つむぎ | No. 20 食いしん坊 パンざい | No. 24 区対抗リレー | 総合 得点 | 順位 |
|-----------|--------------|---------------|-------------------------|------------------|----------|----|
| 新田 | 40 | 30 | 60 | 30 | 160 | 4 |
| 大船津 第1 | 15 | 20 | 50 | 40 | 125 | 6 |
| 大船津 第2 | 60 | 20 | 10 | 100 | 190 | 2 |
| 大船津 第3 | 30 | 30 | 30 | 80 | 170 | 3 |
| 爪木 A | 50 | 80 | 20 | 60 | 210 | 1 |
| 爪木 B | 15 | 60 | 40 | 20 | 135 | 5 |



今年も参上!



山マツ千化粧教室

「知っておきたい心臓病の話」 (七月十二日)

要点

講師 小山記念病院 田鎖先生

鹿嶋市の健診受診率は三十二%と低く、県内三十二位で、豊津地区は男女とも市の受診率を下回っています。また、市の死亡率では、男性は急性心筋梗塞が県内ワースト(以下同様)八位、糖尿病が七位、女性は子宮がんが三位、急性心筋梗塞が八位、脳内出血が七位となっています。

豊津地区は肥満(メタボ)が多いため、心臓に關係がある病気が多く、心臓病の多くは高血圧や肥満などの生活習慣病が關係しています。

特定健診やがん検診は、早期発見のためにも必ず受診しましょう。そして狭心症や心筋梗塞を未然に防ぐため、体に異変があった時は、面倒でも記録して置くことを勧めます。

楽学(ビーズアクセサリー作り) (十月四日)

ビーズアクセサリー作りを十三人で初体験しました。老眼鏡のお世話になったり、ハブニングもあつたりしましたが、コットンパールとガラスのビーズを組み合わせたネックレスとピンブローチを全員時間内に仕上げられました。とても素敵な作品だったので、その日は夜まで身に付けて沢山の人に好評でした。

丁寧なご指導をしてくださった荒張先生、並びにお世話してくださった正木さん(旧姓成毛・大船津出身)、楽しいひと時をありがとうございました。作品は、とよつだよりで展示します。ぜひ、見てください。

(注) コットンパールは綿の回りに特殊な塗料でパールのように輝きと質感を出した軽量ビーズ



収穫の夏!

とよつキッズ

収穫祭&パーベキュー



五月に子ども達が作付したリトルファームの作物を収穫し、感謝しながらいただく「収穫祭」を七月二十六日に行いました。

今年は文化福祉部の事業に、豊津小子ども会育成会が相乗りする形で行ったため、多くの参加者が賑わいました。(子ども四十一人・大人三十九人・幼児五人)

それぞれに見事に実ったミニトマト、西瓜、枝豆、ピーマン、トウモロコシを収穫し、お昼にはパーベキューの食材やデザートとして美味しくいただきました。

収穫祭の日はいにくの猛暑に見舞われましたが、子ども達は暑さを苦にせず、あまり経験のない農作物の収穫を楽しみました。また、パーベキューを準備から手伝った子ども達は、大汗を流しながらも、お腹いっぱいになるまで食べていました。

初の共催事業としての試みで課題もいくつか見えましたが、元気な声が響き渡った一日でした。お疲れ様でした。



とよつかるためぐり シリーズ⑩



⑥ 先導で
進むは 御座舟
御船祭り

☆ 平成二十六年九月二日 午年 ☆
待ちに待った十二年に一度の御船祭の吉日。皆さんの大きな期待に沿うように、雲一つない絶好の天気に恵まれました。

鹿島神宮を出発した約二百人の祭列は、約二キロの陸路を経て、大船津一の鳥居付近から約一二〇隻の鮮やかな船に乗り込みます。その先導を務めるのが新田神楽。雌雄の獅子が龍頭を飾った御座舟に乗り込み、笛や太鼓が囃される中、船団は厳かに出発し、水上絵巻の始まりです。上空にはマスコミのヘリコプター、堤防には二重三重の観衆と、この日を待ちわびていたかのような大賑わいでした。

色とりどりの装束を身にまとった参列者や約三万人と発表された観衆の中には、それぞれ十二年前の思い出を振り返ったり、十二年先の次の祭りを想像したりと、思い思いにこの優雅なお祭りを楽しましました。



今年も賑やかに♪ 敬老のお祝い



今年の「平成26年度豊津地区敬老会」は、9月14日に新仲家で行われました。今年度の豊津地区の敬老者（昭和18年4月1日以前に出生した方）は304人で、そのうち122人の参加がありました。

* 鹿嶋市全体 *

○ 敬老者 10,551人 (8/1現在)

○ 最高齢者 104歳

開会前には、今年度新たに敬老会に仲間入りされた方々の集合写真撮影（写真左）が行われ、敬老会第1部では白寿・米寿・喜寿の節目の方々への記念品贈呈などの式典が行われました。

第2部では参加者同士、楽しく歓談・飲食するとともに、小学生2人による作文発表や「YOSAKOIとよつ」の力強い踊りの披露などがありました。また、豊津地区の敬老会では初めてシルバーリハビリ体操が行われ、リハビリ体操指導員の皆さんにならって軽運動もしました。



このような場に出られるのも、健康あってこそです。来年も皆さんの多くの笑顔とお会いできることを願っています。

キッズ ほたる見学会

(七月五日)

ほたるが見つけられるかという心配を抱きながら、総勢七十九人の参加で実施しました。参加者の「見たい！」という気持ちや伝わり、数匹のほたるを発見。感動の一瞬でした。環境の悪化（変化）によりほたるは激減していますが、流れ川にはホタルの餌（カワニナ）がいて、コケや草もあり、水の流れも緩やかと良い要件があります。ある程度の泥が堆積していれば、ホタルは生育できるとあらためて学びました。

この見学会の前には、文化福祉専門部の皆さんの調理による美味しいカレーをいただきました。子どもたちにとって、とても楽しい夏のお楽しみ行事の一つとなりました。



キッズ 移動教室 (八月五日)

地域環境部員、文化福祉部員、子どもたちと保護者、総勢二十八人を乗せた市バスは、最初の見学場所の鹿島浄水場へ。施設職員の説明を熱心に聞いた後、施設を案内していただきました。まず北浦の水が運ばれてくる着水井（ちややくすいせい）の迫力に圧倒されました。そして、何度も浄化されながら、水がきれいになっていく過程を見学し、何気なく使っている『水』の大切さを学習しました。

次に、行方市の「霞ヶ浦ふれあいランド」へ移動し、虹の塔から雄大な霞ヶ浦を眺め、水の科学館で映像を見て、意外と知らない身近な『水』を学び、楽しいひと時をすごしました。



筑波山でいい汗！

(九月二十八日)

今年の豊津ハイキングは、小学校の遠足などで馴染みのある筑波山。つっじヶ丘から女体山、御幸ヶ原までの岩場の多いコース設定でしたが、皆さん、健脚を披露。爽やかな初秋の筑波山を満喫しました。



『とりあえず一歩』と筑波山

スポーツ健康づくり専門部 副部長 大川 悟

紅葉前のほわっとした季節、二十一名の参加を得て筑波山に登ってきました。初心者コースとは云え岩場はきつく、登りきった頂上での爽やかな風に吹かれ、達成感が沸きあがりました。

スポーツ健康づくり専門部では、健康への動機付けを図るため『とりあえず一歩』を掲げ、筑波登山を企画しました。

今後も皆さんが、健康づくり事業に参加していただけるよう、事業を実施していきます。健康であることに感謝し、みんなで達成感を味わいませんか。



▼つぶやき▲ 本号の編集にあたり、御船祭もあり、より「豊津」の歴史の未知の事を学ぶことができた実感しています。忙しい中でも、地域の方々との豊津行事への参加やご協力に感謝しました。これも、地域の皆様の日頃の行いが良いお陰で、地域行事が素晴らしい天候に恵まれたのだと思っております。(の)

第34号

平成27年3月1日発行
一編集・発行一
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

とよつだより

大会結果 (敬称略)

<参加者合計 46人>

・幼児の部

- 優勝 山町彩奈 (さな)
- 2位 根本陽芽 (ひめ)
- 3位 大川愛未 (あみ)

・小学生低学年の部

- 優勝 浅間梓名 (あずな)
- 2位 山町詩音 (しおん)
- 3位 君和田環人 (わと)

・小学生中学年の部

- 優勝 君和田由奈 (ゆな)
- 2位 宮崎渚 (なぎさ)
- 3位 山町美羽 (みう)

・小学生高学年の部

- 優勝 藤枝元輝 (げんき)
- 2位 額賀寛未 (ひろみ)
- 3位 根本莉玖 (りく)

・一般の部

- 優勝 山町浩信
- 2位 柏葉則穂 (のりお)
- 3位 石津和直 (教頭)

・シニアの部

- 優勝 君和田美智子
- 2位 斉藤幸子
- 3位 藤城まさ

今年で十回目を迎えた「とよつかるた大会」が、一月二十五日(日)に、豊津まちづくりセンター和室で開催されました。

幼児の部、小学生低学年・中学年・高学年の部、一般の部、シニアの部(六十五歳以上)の六クラスに分かれ、熱戦が繰り広げられました。幼児の部は、まだかるたを良く覚えていないのか、ちよつと遠慮がちに札を取りに行っていました。小学生は例年参加している人が多く、札を取りに行くのが早く、各クラスとも接戦となりました。一般の部、シニアの部は参加者が少なかったのですが、小学生に負けない気迫あふれる戦いが展開されました。

各部の優勝者(優勝者は二面で紹介)の皆さん、おめでとうございました。また、惜しくも優勝には手が届かなかった方々も、僅差の勝負もありましたので、来年の入賞(優勝)を目指して頑張ってください。

表彰式の後には、恒例の餅つきと花餅飾りを体験し、つきたてのお餅を美味しくいただきました。

今後、とよつかるたが綿々と継承され、二十回、三十回目の大会に引き継がれることを願い、大会を閉じていきました。

十回目を迎えました

とよつかるた大会




各クラスの優勝者

幼児の部



山町 彩奈ちゃん

感想…うれしかったです。

小学生低学年の部



浅間 梓名ちゃん

感想…うれしかったです。

小学生中学年の部



君和田 由奈さん

感想…来年もがんばります。

小学生高学年の部



藤枝 元輝くん

感想…初めて最後の優勝かな。

一般の部



山町 浩信さん

感想…来年も優勝を狙います。

シニアの部



君和田 美智子さん

感想…シニアパワーでがんばりました。



健康づくり仲間を募集しています

シルバーリハビリ体操いかが？

豊津地区に住む六十五歳以上の方を対象に、鹿嶋リハビリ体操指導士の皆さんの指導によるシルバーリハビリ体操教室が行われました。(主催…市介護長寿課)



シルバーリハビリ体操とは、元気な方はより元気に、足腰が弱ってきている方はいつまでも自分らしく生き生きとした生活を続けていくことを目的とした介護予防用の体操です。「健康寿命」を伸ばすことは自分にとっても、家族そして地域にとってもたいへん大事なことです。全八回の教室終了後、早速、『豊津SR体操教室』として活動を開始しました。

豊津エクササイズクラブのメンバー募集中

『豊津エクササイズクラブ』は、まちづくり事業として開催したピラティス教室が好評だったことから、その受講生を中心に、ピラティスなどの有酸素運動による健康づくりと仲間づくりを目的とするクラブで、今年一月に発足したばかりです。内容としては、ピラティスだけではなく、ヨガやボクササイズ、エアロビクスなど、年齢や健康状態にかかわらずにできる運動を取り入れて健康づくりをしていくそうです。

※どちらのクラブも、関心のある方は豊津まちづくりセンターへお問い合わせください。

電話 八三一五六八〇

☆第19回とよつまつり☆



昨年の十一月十六日、地域の皆さんが楽しみにしているイベント「第十九回とよつまつり」が盛大に開催されました。

催し物は多数ありましたが、会議室には地域の皆さんや子ども達の心のこもったすばらしい作品が数多く出展されました。また、駐車場には、食欲をそそる豊津グルメや楽しい模擬店のテントが立ち並び、賑やかな声と多くの笑顔があふれていました。この「とよつまつり」には、豊津地区だけでなく、地区外からも毎年楽しみにしている方が多数参加してくれて、今年も皆さんの目や耳や舌など期待を裏切らず、それぞれに満足していただけたと思います。

午後からは、クロッケー場に設置した特設舞台で芸能発表が行われ、素晴らしい歌や踊りなどが披露されました。観覧の方々は素敵な笑顔にあふれ、発表される方々も舞台上で自分の芸を満喫されていました。

次回は第二十回。さらにパワーアップした「とよつまつり」をお楽しみに。



大船津は、港町のため、幾つかの小川があります。特に、大船津の中心を流れる流川には御手洗川を經由して、鹿島神宮内にある御手洗池の水が流入して北浦に流れています。昔は魚やウナギがいっぱいいる川で、飲料水としても使われていました。

流川には、小学校前にある須保居橋から浄瑠璃橋、普渡寺橋、田町内にある極楽橋などの橋が架かっています。

五ヶ所全ての橋が昭和五十二年から五十六年にかけて石橋に改築されました。

平成初期までの葬式(土葬)の際には必ず極楽橋を渡って墓場に行っていました。



あ あの世へは
誰もが渡った
極楽橋

とよつかるためぐりシリーズ⑮



北浦(鯉川)の堤防や地区内の道路で、犬の散歩を良く見かけます。散歩されている皆さん、愛犬のフンの始末はきちんとしていますか？ みんなの豊津、きれいにしましょう！

小学校との 合同防災訓練

1月21日、災害時における避難所生活の体験を目的に、豊津小学校とまちづくりセンターとの合同防災訓練を行いました。

今回は、小学生たちの自主的な活動を地域の人達が見守り、お手伝いするという形で、1・2年生はダンボール寝床作り、広告チラシでのコップ作りとペットボトルでのスプーン作りを、3～5年生は骨折などの応急処置と火起こしを、そして6年生は豚汁・おにぎり作りを担当しました。

いざという時のために、みんな真剣に取り組んでいました。



おおふなつ自警団が表彰されました！
十二月二十日に開かれた「第九回安全・安心まちづくり鹿嶋市民大会」で、おおふなつ自警団(代表・内田博道さん)が、学校児童の安全を守っているという選考理由で『全国学校安全ボラティア活動奨励賞』を受賞されました。
自警団の皆さん、これからも地域の安全・安心のためにどうぞよろしくお願ひします。



いかがでした？『豊津のあゆみ』
まちづくりセンターの地域運営型十年の経過をまとめた記念誌『豊津のあゆみ』を、昨秋、各家庭に配りました。懐かしい写真や記事で、楽しんでいただけたかと思ひます。

記念誌はまちづくりセンターにも置いてありますが、各家庭で何かの機会にまた見ていただければ幸いです。



▲関係者で発刊祝賀会



みんな楽しくケーキ作り
十二月六日、クリスマスを前に「とよっキッズ」と「男の料理教室」で『ケーキ作り』をしました。(小学生二十人を含め計三十人)
作ったのは、カップケーキとフルーツヨーグルトで、ケーキの生地を練る作業は「男の料理教室」のおじさんたちに協力してもらいましたが、カップへの流し入れや盛り付け、果物のカットや洗い物など、みんな上手にできました。
最後は、完成品の味見でしたが、美味しくでき、会場は笑顔にあふれていました。

みんな楽しくケーキ作り
十二月六日、クリスマスを前に「とよっキッズ」と「男の料理教室」で『ケーキ作り』をしました。(小学生二十人を含め計三十人)
作ったのは、カップケーキとフルーツヨーグルトで、ケーキの生地を練る作業は「男の料理教室」のおじさんたちに協力してもらいましたが、カップへの流し入れや盛り付け、果物のカットや洗い物など、みんな上手にできました。
最後は、完成品の味見でしたが、美味しくでき、会場は笑顔にあふれていました。



～ 歴史の香り漂う 鹿島神宮名所巡り ～ レッツウォーキング

11月29日、新しくなった鹿島神宮の社務所を見学するとともに、鹿嶋ふるさとガイドの方に約1時間の案内をお願いしての神宮散策を目的とした「レッツウォーキング」を開催しました。

小雨に少し降られる曇天の下、参加者は12名と少なかったのですが、鹿島神宮への往復と神宮境内の散策で約8キロのウォーキングを楽しみました。

～ 参加者の声 ～
・若い人たちについて行けるか心配でしたが、どうにか話しながら完歩できました。皆さん、お世話様でした。(Kさん)



◆じいじいのつぶやき◆
念願の孫ができました。夜泣きもウンチの始末も苦にならず、「目に入れても痛くない」とは良く言ったものです。子育ても以前とは違い楽になってはいませんが、親は悪戦苦闘でがんばっているようです。
甘やかされても、祖父母のいる家庭で育った子は、やさしく思いやりのある子が多いですよ。(善)

第 3 5 号

平成27年6月15日発行
—編集・発行—
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

とよつだより

第33回霞ヶ浦浄化キャンペーン 北浦一周サイクリング



2015.5.16 潮来市 白鳥の里

地域の輪を広げましょう！

まちづくり委員会 委員長 和田 勉



地域管理型まちづくり活動がスタートして、十年が経過しました。その足跡を残そうと、昨年の総会で飯島前委員長が提案した『豊津のあゆみ』が完成して、全戸配布がなされました。この記念誌は、「協働のまちづくり」活動の教本として今後活用していきたいと考えております。

さて、この度、本年度の総会でまちづくり委員長を拝命いたしました。皆さんのご協力をいただきながら、一年間活動してまいりたいと思っております。役員につきましては、私をはじめ一部変更になります。役員ににつきましては、私を誕生いたしました。今後も、館長をはじめとして、女性の活躍を大いに期待いたしております。

「協働のまちづくり」を通して、地域の輪を広げましょう。よろしくお願いいたします。

未知の駅へ (三)

同 前委員長 飯島 亘隆



万緑の侯、地域の皆様方には益々ご清栄のことと拝察いたします。私は七年前のこの欄に「未知の駅へ」の標題で、まちづくり委員会への参加を呼びかけました。

私事で恐縮ですが、数年前に「国際協力機構」のシニア海外ボランティアとして活躍している後輩から派遣の要請を受けたが辞退し、七十歳の年齢制限により、「未知の駅へ」のキップを放棄しました。より楽しい人生航路を目指し、再び「未知の駅へ」をお願いし、御礼の言葉とします。

悪天候の中決行！！

無事全員完走



北浦一周
サイクリン
グの創始者
箕輪さん

五月十六日(土)、朝から強い雨が降る中、サイクリングを実施するかどうか、役員の方は大変悩まれたかと思いますが、次第に止むだろうという予報を信じ、「第三十三回北浦一周サイクリング」は決行されました。

開会式や走り始めの頃は雨が降り続き、完走できるかどうか心配しましたが、北浦大橋を渡る頃には雨は上がり、お昼も無事屋外で食べることができました。

今年は、昨年とほぼ同じコース(北浦大橋経由)を走りました。一年生の参加がなかったのが寂しかったですが、子ども達二十二名、大人を含め総勢五十三名の参加が得られ、全員完走を果たしました。

今回は、今まで主催していた「豊津スポーツ父母の会」が「豊津子ども会育成会」に統合されて初めての実施となりました。

しかし、今まで続けてきたスポーツ父母の会に敬意を表し、沿道の人への呼びかけのアナウンスや、腕章、タスキ等にはスポーツ父母の会の名前を残して行われました。

最後に講評で、この事業の創始者の箕輪礼子さんから、「今後もタスキをつなげて欲しい。さらに北浦がこのような浄化キャンペーンもないほどキレイになって欲しい。」との言葉がありました。

その言葉どおりになるよう、今後もこの活動を続けていきたいと思えます。



雨も上がり
走りも快調

雨の中サイクリングへ出発



完走賞

今回の六年間完走賞は、大川侑也君でした。



◆侑也君の感想◆
六年間がんばられて、良かったです。



うらら会(豊津地区社会福祉協議会)の活動にご協力を

うらら会では、ひとり暮らしの高齢者などがその地域住民とのふれあいを通じて、生きがいや介護予防を促進することを目的に事業を展開しています。

今年度も、①ふれあい食事会、②ふれあいクリスマス会、③ふれあい移動学習会、④新年会、⑤広報紙づくり、などを予定しております。

六月には早速、ふれあい食事会を行います。対象となる方には、担当者から案内通知が届いていると思いますが、積極的にご参加ください。また、協力者も募集しています。



うらら会支援会議の様子

日頃の練習の成果を發揮 高齢者スポーツ大会

六月四日、高齢者スポーツ大会を、神野ふれあい公園で開催しました。当日は、一日順延した結果、素晴らしい天気・コンディションに恵まれました。

四十八名の参加者の皆さん、お疲れさまでした♪



☆三位までの結果は、次のとおりです。

- 輪投げの部
 - 優勝 郡司 由一さん (大船津)
 - 第二位 荒野 昭さん (〃)
 - 第三位 青木 金司さん (新田)
- グラウンドゴルフの部
 - 優勝 小沼 やいさん (爪木)
 - 第二位 小室 タミさん (大船津)
 - 第三位 君和田 隆さん (爪木)
- クロケットの部
 - 優勝 新田Bチーム
 - 第二位 大船津Aチーム
 - 第三位 大船津Bチーム

今年もみんなで地域美化を!

5月10日、今年度最初の豊津クリーンを行いました。豊津クリーンは、沿道などに捨てられているゴミを回収し、豊津の環境美化を進めていく目的で行っています。

豊津地区は市が実施する市内一斉清掃と併せて、この豊津クリーン年3回実施し、年々、回収されるゴミも減ってきており、地区の願いは叶いつつあります。

今年度は、あと8月2日、そして年明けの1月10日と予定しています。どうぞ、多くの方の参加協力をお願いします。

豊津地区 ソフトボール大会

五月二十四日、天候にも恵まれ、伝統の郷運動公園で恒例のソフトボール大会を開催しました。

競技を楽しむみんなの意気を感じられて、素晴らしい大会となりました。

来年も楽しみです。



- 優勝 大船津第二区
 - 準優勝 大船津第三区
 - MVP 埴 智さん
 - ホームラン賞 埴 智さん
 - 長岡 仁さん
- 優勝した大船津第二区チーム

か かるためぐりシリーズ ⑩



か 鹿嶋市の
明日、か
神宮橋に
かける

鹿嶋市と対岸の潮来を結ぶ神宮橋は、鹿嶋市が『陸の孤島』から、首都圏へつながる鹿行の中心都市へ変貌する重要な役割を果たしました。今なお、物流や観光等において、なくてはならない存在であることは変わりません。

神宮橋の歴史ですが、昭和四年に今はなき初代(橋長九三〇m)が建設されました。その後、昭和三十六年に二代目(同九五〇m)が、そして平成十四年には国道五一号バイパスの架橋としてワールドカップ鹿嶋市開催にあわせて三代目となる新神宮橋(同一〇七五m)が架けられたのは記憶に新しいところです。

現在は、新旧神宮橋が仲良く並んでいます。五〇年以上経過した二代目は老朽化が進んでおり、度々補修工事がされています。最近では、欄干が湖上に鎮座する鹿島神宮一の鳥居の色に似た色に塗り替えられ、神宮の入り口の趣を醸し出しています。

なお、新神宮橋を含めた国道五一号バイパスは継続的に改良工事が進められており、将来的に三代目は四車線に拡幅される予定とのこと。より利便性が向上することが期待されます。

今年度の区長さんです。

どうぞよろしくお願ひします



- 写真上段(左から)
糟谷正也区長(大船津第二区)、佐藤修区長(爪木区)、藤岡源一区長(大船津新田区)
- 写真下段(左から)
内田博道区長(大船津第一区)、濱田秀夫区長(大船津第三区)

☆ 第1回リトルファーム ☆

みんなで楽しくトウモロコシ・スイカを育てます♪

種まき終了後は、皆で焼きそばを食べて、ペットボトルで風車を作りました。

収穫が楽しみで〜す。

(5月9日の作業風景)



夏野菜作り

* 今回の参加者 *

| | |
|-----|-----|
| 幼児 | 6人 |
| 小学生 | 24人 |
| 大人 | 23人 |
| 計 | 53人 |



奥多摩の自然を満喫(豊津ハイキング)

五月三十日、晴天の下、豊津ハイキングに行ってきました。今回のテーマは、『青梅市の美しい渓谷と奥多摩湖散策』です。(参加者 二十七人)

奥多摩湖や御岳渓谷の散策、寒山寺や櫛かんざし美術館の見学と、普段はあまり行くことの少ない奥多摩方面を歩いてきました。ハイキング中、漫画家の模図かずおさんとすれ違うハブニングもあり、参加者はワイワイガヤガヤ。それぞれに奥多摩の新緑や自然、文化を楽しんできました。



◆参加者の声◆

- ・ハイキングに初めて夫婦揃って参加し、楽しかったです。健康づくりにハイキングは良く、また参加したいと思います。(爪木 佐藤さん)
- ・多摩川沿いのモミジの下を吹く風は気持ちよく、長生きできそうです。(大船津 隅田さん)
- ・五十年ぶりに奥多摩湖へ来ました。湖がきれいでした。(大船津 柏葉さん)
- ・鹿嶋にはない御岳溪流の風景に癒されました。(新田 藤城さん)

飯島前委員長に感謝

まちづくりセンター長 高安 広子
初夏の風がたなびき、青田の美しさがなお一層感じられる今日この頃となりました。平成二十七年事業も、無事スタートする事ができ、地域の皆様のご協力に感謝いたしております。

このたび、七年間まちづくり委員長として活躍くださった飯島前委員長が多大な職責を果たされ、退任されました。言い尽くせないほどのご尽力に心より深く御礼申し上げます。

これからもセンター職員一同、和田新委員長をはじめとした役員さんと共に、皆様のご協力をいただきながら頑張りますので、よろしくお願ひ申し上げます。

つぶやき

四月から一人暮らしを始めた息子がG・Wに一ヶ月ぶりに帰ってきて、夕飯の餃子を美味しく食べながら、「これが俺の母の味だね」と一言。初めて聞いたそのつぶやきに、不安な気持ちや苦労が詰まっているようで、母は泣けてきちゃいました。これから大変だけど、頑張ってるね。応援しているよ。たまには元気な顔を見せに帰ってきてね。(S)

◆追悼◆ 前センター長の薄井正夫さんが、このたび逝去されました。

体調の関係でセンター長を退任されましたが、その後も積極的に事業に協力いただきました。感謝申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

第36号

平成27年11月1日発行
一編集・発行一
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

とよつだより

【今年のスローガン】 豊津小2年 立野美紅さん

10周年 やっぱりいいね 豊津の輪



豊たんと美女?

お馴染みの偽白バイ



七福神



来年の新1年生

盛り上がった仮装行列！ 爪木区Aが連覇！！

公民館と小学校が合同で運動会を実施するようになって、今年で十周年を迎えました。地域の子どもと学校の子どもたちが一緒に走ったり、踊ったり、豊津の輪が一つになる運動会。最近では高松地区でも行われていますが、鹿嶋では独特な体育祭となっています。

十周年記念として今回は特別に仮装行列が行われ、各地区とも工夫を凝らし、警官、七福神、結婚相談所員、ヒーローなど思い思いに扮し、「ぼくでん」や「ナスカちゃん」も登場して会場を大いに盛り上げてくれました。

※十一月八日のとよつまつりで、写真展示します。お楽しみに！

メインの地区対抗は、玉入れ、つなひき、地区対抗リレーの3種目で競われ、各種目で強さを見せた爪木区Aが見事V2を果たしました。他の地区も大いに奮闘し、例年以上の熱戦が繰り広げられました。地区対抗以外の種目にも多くの人が参加し、無事に楽しく体育祭を行うことができました。

年々減少傾向にある豊津小学校の子どもたちですが、「来年は一年生」では十四名の子どもたちが参加してくれました。最後の委員長の講評にもありました。最後の委員が入学してくれるよう、この体育祭を含めて、豊津のみならず地域づくりを努め、わたしたちの豊津をもっと魅力ある地区にしていきたいと思います。

大成功 皆さんに感謝
まちづくり委員長 和田勉

小学校と地域合同「とよつふれあい運動会」も十周年を迎え、盛大に開催できました。と改めて御礼申し上げます。

昨年の反省会での意見から気運が盛り上がり、二十年ぶりに仮装行列を実施。各グループの発表は、とても好評でした。参加者の並々ならぬ情熱が地域の皆さんに伝わったのではないのでしょうか。準備をはじめ、皆さん、たいへんお疲れさまでした。

今年のスローガンになった『十周年 やっぱりいいね 豊津の輪』がピッタリの運動会ができました。

地域の輪を実感

爪木区A 佐藤修区長

第十回とよつふれあい運動会も、すばらしい運動会になりました。爪木はニセ電話詐欺と少子化の二テーマで仮装し、茨城県警生活安全総務課作成の「ニセ電話詐欺」のチラシを配り注意喚起をいたしました。地区対抗は爪木区Aが優勝。来年は三連覇をめざし早めの練習に取りかかります。

今年の運動会は、子ども達の成長と地域の輪(和)を実感しました。先生方、実行委員さん大変ご苦労様でした。

小学生

紅組も白組も頑張りましたが、少しの差で白組が勝ちました。



(借り人競争)



(紅白対抗リレー)



(組体操2015)



(秋はおしゃれに)

区対抗

総合優勝 爪木区A ・ 2位 大船津第3区 ・ 3位 大船津第1区

1位：大船津第3区



(玉入れ)

1位：爪木区A



(つなひき)

1位：爪木区A



(区対抗リレー)



(区対抗リレー)

その他の競技



新種目

(それゆけ！
とよつの火消し隊)
消防団の皆さん、いつも
ありがとうございます



(変身！AKB48)
今年も山町審判長が
大暴れ！

注) 仮装行列ではあ
りません

仮装行列



(ヒーロー)



(結婚相談所)



(ぼくでん君)



(新田かぐら)



(安来節)



(爪木警察隊)



(集合写真)

災害時における避難所生活体験

九月十八日、昨年に引き続き、豊津小学校とまちづくりセンター合同の避難所体験訓練を行いました。テーマは『災害時における避難所生活体験』。段ボールを使ったベビーソフアーや空き缶を使ったランタン作り、警備会社の指導によるAED訓練、それにかまどでの炊飯やキーマカレー作りも行いました。自然災害はいつ起きるかわかりません。また、最近ではゲリラ豪雨などにより、警報や注意報の発令も多くなっています。今回も、地域の方が三十名ほど参加してくれましたが、このような訓練はまさかの時のためです。いざという時のために、経験しておくことも大事ですね。



大勢で楽しく 高齢者移動楽習

これまでまちづくり事業として行っていた「高齢者移動教室」と、豊津地区社会福祉協議会（うらら会）で行っていた「ふれあい移動楽習会」を今回は合同開催とし、10月20日、笠間・水戸方面へ出かけてきました。



▲常陸国出雲大社にて

笠間市では常陸国出雲大社と笠間稲荷神社を、その後、茨城県庁の25階展望ロビーを見学してきました。

参加者の中には、出雲大社の拝殿に吊るされた大しめ縄の太さや、県庁展望ロビーからの眺望に驚く人もいました。（この大しめ縄は日本最大級との話も）

認知症予防講座を行いました

七月八日、高齢者教室で『認知症の症状とその予防について』の講座を行いました。現在、認知症は珍しい病気ではないので、早めの専門医の受診で脳の機能低下を遅らせることができるそうです。予防にはバランスのとれた食事、人との交流、適度な運動、良い睡眠の生活習慣を続けることが大切です。話を聞くことや農作業も予防には良いそうですよ。また、認知症は家族、周囲の気づきも大事です。日頃から意識して生活することが大切であると感じました。

【参加者の感想】

・シルバリーハビリ体操に参加しています。これからも続けていきたいです。

（根本敏子さん）

・早期発見が大事。コミュニケーションを多くとって、予防に努めていきたいです。

（石上方雄さん）



楽学セミナー 籠バッグ作り

9月27日、3人の講師を招き、クラブを使った籠バッグを作りました。



▲完成品に満足！

細かい作業もありましたが、19人の参加者は講師の説明を真剣に聞き、和気あいあいと楽しく手を動かしました。作品ができあがると、出来栄を自慢し合い、楽しい時間となりました。

講師の先生方には、丁寧でわかりやすいご指導をいただきありがとうございました。

かるためぐりシリーズ ⑬



帆引き船
しらうお
えび 雑魚
わかさぎ

帆引き（帆曳き）船は、明治十三年、シラウオ漁を目的にかすみがうら市の漁師により考案されました。それまで二十人以上必要だった漁船が、二人で操業できるようになり、漁民の暮らしを安定させたことから、その後、霞ヶ浦・北浦でのワカサギ漁の主役として、昭和四十年代前半、トロール船に代わるまでの約百年間、漁業の花形として活躍しました。白い大きな一枚帆で風を受け、網を引いて漁を行い、帆は大きなものでは高さ九メートル、幅十六メートルほどにもなり、優雅に湖面を移動していました。現在は、霞ヶ浦・北浦の伝統を継承した文化遺産として、行方市や土浦市、かすみがうら市で観光帆引き船として復活させ、特別操業をしています。以前は、北浦だけでなく、船溜まりやえんま（水田に水を入れたり、排水したりした土堀りの小川）でも川エビや手長エビなどがいっぱい獲れ、天ぷらにしておいしく食べたものですが、今は貴重品です。 ※かすみがうら水族館（歩崎公園内）前には、帆引き船発祥の記念碑が設置されています。



▲観光帆引き船

今年も和やかに敬老会 ♪

9月13日(日)、今年も新仲家を会場に「豊津地区敬老会」が開かれました。今年の対象者は、昭和18年4月1日以前に生まれた方(昨年と同じ)でしたが、皆さん元気に参加され、歓談、そしてアトラクションに拍手・笑いと楽しんでいました。



なお、敬老者数は鹿嶋市全体で10,062名、豊津地区では275名(うち109名出席)でした。式典では米寿9名に褒状が、喜寿20名には記念品が贈られました。また、豊津小学校の児童2人が作文を読み上げ、会場は大きな拍手に包まれました。



とよつキッズ 事業 いろいろ

☆ ホタル 見学会 ～ 今年もホタルが見られました

七月四日、今年も自然観察「ホタル見学会」を行いました。親子合わせて九十二人と予想以上に大勢の参加者が集い、まずはまちづくりセンターで美味しいカレーライスで腹ごしらえ。満腹になったところで、流れ川に沿ってお寺に向かい、楽しくワクワク探検しました♪
心配していたホタルですが、無事きれいな光を見ることができました。良かった!



☆ 移動教室 ～ 池袋防災館で貴重な体験



今年度の移動教室は、『気軽にできる!防災体験をしに行こう!』をテーマに、七月八日に東京の池袋防災館と千葉・葛西臨海水族園に行ってきました。(三十一人参加)
【参加者の声】
・体験で避難する時は姿勢を低くし、口はタオルやハンカチをあてて煙を吸わないようにすることを学びました。(四年 初山結泉さん)
・地震や津波のことがわかって、勉強になりました。(五年 宮崎渚さん)

☆ リトルファーム ～ 収穫祭 & パーベキュー

今年度は雨が少なく生育が心配でしたが、協力者たちの支援により例年どおり育ち、一安心。七月二十六日には、参加者みんなで協力してトウモロコシや枝豆、ナスなどを収穫しました。収穫物は、「収穫祭」と称し、BBQの材料にするなどして、美味しくいただきました。

【柏葉則穂子ども育成会会長コメント】
暑い中、子ども達と一緒に準備をした後のかき氷は最高に美味しかったです。協力者の方にお礼申し上げます。



スポーツ健康教室

今年度のスポーツ健康教室は、ノルディックウォーキングを計四回実施します。
一回目は、九月二十六日、出発前にノルディックウォーキングの正しい歩き方を体験した後、史跡散歩(約五キロ)として塚原城跡・林城跡を散策しました。



このウォーキングは、ポールを使用することで、運動効果がより増強され、バランス感覚が維持されて転びにくくなるそうです。当日は、あいにくの小雨でしたが、森林浴を楽しみながら、参加者十八人全員が完歩しました。二回目は十一月二十八日に予定しています。ぜひ、ご参加ください。
参加者の感想♪
・杖を使用するので足腰の負担が軽減されスムーズに歩くことができました。機会があれば堤防沿いをウォーキングしてみたい。(新田地区・五十代男性)

つぶやき

運動会の開会式で、児童代表が常総市では、水害で運動会を開催できない学校があるということに触れ、私たちは開催できて幸せですという内容がありました。そして、今年第十回記念ということで新種目が加わり、さらに多くの協力者によって開催することができました。あらためて、開催できることの幸せを再認識した一日でした。

第 3 7 号

平成28年3月1日発行
一編集・発行一
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

とよつだより

第11回

とよつ かるた大会



▲一風変わった「大判かるたとり」



▲いざ！真剣勝負

今年も熱戦あり、笑いあり



▲恒例の餅つき。お母さんも奮闘

前日まで今年一番の寒波が到来していましたが、一月二十四日の「とよつかるた大会」当日は、皆様の日頃の行いが良かったのが幸いし、朝からきれいな青空の下、大会は無事に行われました。

かるたは、幼児の部からシニアの部までの合計六部門に分かれて競いましたが、周りにも勝負の真剣さが伝わるグループから、冗談まじりに大笑いしているグループまでさまざまでした。残り枚数が少なくなると、お手付きを誘うひっかけ読みもあり、楽しいかるた大会になりました。

各部門に参加された方々、裏方で運営に携わっていただいた方々、大変お疲れ様でした。

かるた大会の後には、恒例の餅つきを行い、今年も地域の皆様手作りの美味しいお雑煮や、あんこ餅・きな粉餅がふるまわれました。

午後からは、今回初めての試みとなる、屋外での「大判かるたとり」が行われ、寒風の中、子どもたちは夢中で大判かるたを取り合い、いい汗をかきました。

かるた大会の結果は、二面に掲載しています。



「かるた大会」入賞者の紹介

○幼児の部(4人)【未就学児】

- 優勝 木村友香(ともか)ちゃん
- 2位 山町紗奈(さな)ちゃん
- 3位 鬼澤菜奈(なな)ちゃん

いっぱいとれて、たのしかったです。



木村友香ちゃん

○低学年の部(11人)【小学1・2年生】

- 優勝 根本陽菜(ひな)さん
- 2位 木村文香(あやか)さん
- 3位 松本琥汰郎(こたろう)さん

30枚以上取れて、うれしかったです



根本陽菜さん

○中学年の部(13人)【小学3・4年生】

- 優勝 山町詩音(しおん)さん
- 2位 大川希純(きすみ)さん
- 3位 君和田由奈(ゆな)さん

1位になれて、よかったです。



山町詩音さん



宮崎渚さん

○高学年の部(11人)【小学5・6年生】

- 優勝 宮崎渚(なぎさ)さん
- 2位 小林綾華(あやか)さん
- 3位 君和田莉央(りお)さん

1位になれて、とてもうれしいです。



※優勝と2位は同点決勝

○一般の部(8人)【中学生以上60歳未満】

- 優勝 山町未来(みく)さん
- 2位 藤枝健太郎(けんたろう)さん
- 3位 木村憲子(のりこ)さん

去年の優勝者に勝って、よかったです。

山町未来さん

○シニアの部(8人)【60歳以上】

- 優勝 君和田美智子(みちこ)さん
- 2位 君和田君江(きみえ)さん
- 3位 柏葉秋穂(あきお)さん

今年も参加できて、よかったです。

君和田美智子さん

- 問合せ・鹿嶋市教育委員会 社会教育課
- 申込み・所定の用紙に必要事項を記入し、豊津まちづくりセンターへ
- 学校からの要請を受けての活動となるので、登録者全員にもれなく依頼があるとは限りません。
- 活動中に生じた事故については、市が加入する傷害保険の範囲内で対応します。
- その他・
- 対象・教育やボランティア活動に関心のある十八歳以上の方(アドレスは下欄外に記載してあります。)
- 大船津保育園
- ・保育補助
- ・環境整備(舎内外の除草・簡単な修繕)
- ・樹木の剪定
- ・行事の際の駐車場係

※詳しくは、市のホームページをご覧ください。



『学校支援ボランティア』を募集しています

あなたの経験・知識などを活かしませんか

『学校支援ボランティア』とは、「子どもたちの教育のために役立ちたい!」という熱い思いをもって、小・中学校や幼稚園・保育園の教育活動や環境整備などを支援するボランティア活動です。

申込み者は、各まちづくりセンター単位で作成する『学校支援ボランティア一覧』に登録され、この名簿によってまちづくりセンター(または学校)から依頼があり、日時・内容などを調整の上、依頼校で活動することになります。

○活動場所・公立の保育園・幼稚園・小学校・中学校

○活動希望内容(一例)

▼豊津小学校

- ・生活科Ⅱ昔遊びの支援(1・3年生)
- ・生活科Ⅱ芋版(年賀状作成)の指導
- ・総合・社会Ⅱ地域の歴史・文化財(とよつかるた)の説明
- ・図工Ⅱ絵画(水彩画)の指導

雨の中 第20回 とよまつり 決行!

内容盛りだくさん!
文化芸術、演芸、模擬店

怪しい空模様の下で始まった「第二十回とよまつり」ですが、案の定、開会と共にぼつりぼつりと冷たいものが降ってきました。模擬店は既に屋外で準備を始めていたことからそのまま実行し、午後からの芸能発表は館内の図書コーナーを舞台にして行う事にしました。

小降りながら降り続ける雨で、人出が気になりましたが、模擬店には例年と比べても劣らないほどの来客がありました。焼きそばやお餅、カレーライス、チョコバナナ、ポップコーンといった食べ物のほか、シクラメンやポインセチアといった園芸作物、新鮮な野菜がみるみると売れていき、お昼にはほぼ完売の状態でした。

また、館内には、習字・パッチワーク・生け花・彫刻など、豊津まちづくりセンターを利用する方や豊津小児童の力作が展示され、多くの人が見事な芸術作品を堪能していました。

午後からの芸能発表には、多数の観客が集まりました。急ごしらえの狭い会場ということもあり、立ち見のお客さんも多数。ポリウレムのあるプログラムで、多くの方々が楽しまれたことと思います。特に、大船津郷の祭頭祭をきっかけに発足した『YOSAKOIとよつ』の舞台では、解散ステージということもあり、渾身の踊りに会場いっぱい拍手がありました。

最後は、お楽しみ抽選会。最後まで残ったお客さんの特権で、豪華(?)賞品が次々とあたり、委員長の手から渡された賞品を手にした人は、満足げに帰路につきましました。



ここ数年恒例となっている「ホテル見学会」。今年度も七月に実施しましたが、例年以上に多くのホテルを流れ川で見ることができ、参加した子どもたちも喜びました。

鹿島神宮の御手洗池から北浦に注ぐ流れ川ですが、昭和初期までは飲料水や洗濯水などの生活用水として使われていたこともありました。しかし、経済成長と共に家庭からの生活雑排水が流れ込み、臭気を発するまで汚れてしまいました。

このままでは、流れ川周辺の住民の生活に支障をきたすことから、かつてのきれいな流れ川を取り戻そうと、行政と地域が一体となり、浄化活動に取り組んできました。

流れ川に生活雑排水を流さないよう下水道や浄化槽の整備、地域住民による流れ川の定期的な清掃などを行い、昔までとはいかないまでも、かなりきれいな川へと蘇りました。

「川は龍神が住む場所」と昔は認識されていたという説もあります。流れ川も、神代の姿をいつまでも保つていきたいですね。

かるためぐりシリーズ ⑮

な

を 流れ川。神代のすがた ippmawemo

きれいにできました フラワーアレンジメント

12月27日、今年度2回目の楽学セミナーは、華やかな年始を演出する「フラワーアレンジメント」でした。



講師(小泓明美さん)のアドバイスを受け、参加した12人は作品の出来ばえを競い合いながら、楽しく作品を完成させました。

<参加者の声>

・初めて参加しましたが、気ぜわしいこの時期にお花と向き合い、ゆったり楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。

(爪木 君和田よしゑさん)

・講師の先生の丁寧な指導で、素晴らしい作品に仕上がりました。また参加したいです。

(大船津 坂本清子さん)

武家屋敷群や佐倉城址をウォーキング!

絶好の天気にも恵まれた十一月二十八日、「レッツウォーキング(佐倉ウォーキング)」を実施しました。

今回は、千葉県佐倉市の武家屋敷と国の重要文化財に指定されている堀田邸、そして佐倉順天堂記念館を見学後、佐倉城址公園をウォーキングしました。

城址公園では、ポールを使ったノルディックウォーキングを体験。有酸素運動のため、普通に歩くよりカロリーを多く消費し、二の腕を引き締める効果もあるとの説明があり、多くの方が体験しました。好天だったこともあり、参加した二十六人は気持ちの良い汗をかきました。



▲堀田邸での集合写真



▲佐倉城址公園を散策

楽しく料理できました!

十二月十二日、鹿嶋市食生活改善推進連絡協議会(以下、「食改」との共催で、「おやこの食育料理教室」を実施しました。

食改の皆さんとの共催は今回が初めてでしたが、参加した十九人の子どもたちは、丁寧な指導を受けながら、「おにぎり」ならぬ「おにぎらず」や、サラダ、デザートなどを楽しく作りました。その後は、バイキング形式の食事をとりながら、バランスの良い食事がいかに大切なことかを教わりました。



▲ごちそうを並べて全員で

『鹿嶋神の道』も Let's Walking

一月十六日、今年度三回目の「レッツウォーキング」は、豊津まちづくりセンター発着で開催しました。(十六人参加)

堤防でノルディックウォーキングの講習を受けてから、天狗党の墓や鶴来稲荷(稲荷塚古墳)、鶴来天神、城山公園を経由するアップダウンのある約七キロのコースへ。最初は慣れないポールを持って余していましたが、新しくできた

『神の道ショートカットコース』のポイントを見学しながら話が弾み、楽しく完歩しました。



★豊津まちづくりセンターでは、ノルディックウォーキング用のポールを8組用意しています。堤防の散歩などで、皆さんも体験してみませんか? 希望者は、事務局へ遠慮なくお申し出ください。

あいさつ標語看板 変わります

皆さんは、豊津地区内の通学路沿いに立つ「あいさつ標語看板」を存じですか?

現在の看板は平成二十三年度に立てたもので、古く色あせてきたことから、三月五日に実施する予定の地域安全点検事業の際に、更新することになりました。三代目となる新しい「あいさつ標語看板」は、小学校低学年の子どもたちの作品を中心とした三〇本です。

どこに、誰の、どんな標語が立つのか、皆さん、地区内の道路を通る際には看板を意識してみてください。



▲現在のあいさつ標語看板

つぶやき 今年度は交通事故が多くなっています。鹿嶋市内での昨年一年間の交通事故による死者数(四人)に、今年(この原稿作成時)は既に並んでしまいました。車は早めにライトをつけて歩行者に気づかせるとともに、歩行者や自転車は反射材等をつけて自分の存在をわからせることが大事ですね。『自分の身は自分で守る』。他人事と思わず、皆さん、気をつけましょう。(S)

第 3 8 号

平成28年7月 1日発行
—編集・発行—
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

とよつだより

第34回北浦一周サイクリング



今年度の豊津まちづくりセンターのスタッフです。



君和田 毅さんから今泉富司さんに替わりましたが、センター長以下、女性陣はこれまで通り。皆さん、よろしくお祈りします♡

今年度も楽しい活動を目指して
豊津地区まちづくり委員長 和田 勉

豊津地区まちづくり委員会は、地域の子どもから高齢者まで、安心して参加できる活動をこれまで沢山企画して実施してまいりました。

今年度もメンバーの入れ替えが行われ、まちづくり委員は公民館の職員を含めて八十七名の体制となりました。委員の皆さんが各専門部においてそれぞれの役割を果たし、これまで以上に多くの方々をお迎えして楽しい活動を実践してまいりたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。

地域の人々に支えられ・・・
豊津まちづくりセンター長 高安広子

美しい青田の季節となりました。皆様には、豊津地区まちづくり委員会事業に何かとご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

今年度も「豊かな地域」を目指し、まちづくり委員会活動が、皆様の協力のお蔭で無事にスタートすることができ、有難うございます。

そして、四月の市の人事異動で、今泉富司さんを迎えました。行政へのパイプ役として、また、コーディネートとして勤務しますので、よろしくお祈りいたします。

風を貫き！GoGoサイクリング

「前に進まない！」「疲れる〜」「ペダルが重たい！」といった言葉が、思わず口から出てしまう。そんな厳しい状況下で始まった、第三十四回北浦一周サイクリングでありました。

前日の天気予報は晴れということで、雨で開始が遅れた昨年とは違い、今年も天候に悩まされることはないかと安心していました。実際、当日の朝は、青空に太陽が眩しいほど輝いていました。サイクリングには最高の五月晴れと皆思ったことでしょう。

しかし、豊津小学校で開会式を終え、北浦の堤防に出ると、状況は一変。北東からの強い向かい風が待ち受けていました。

北浦大橋の手前のコンビニエンスストアで小休憩した時には、「疲れた、疲れた」という言葉があららちから、大人から子どもからも聞こえました。

それでもなんとか、北浦大橋を渡り、坂を上って白浜少年自然の家に着く。昼食と休憩をとり、子どもたちも保護者も元気を取り戻しました。

午後の部となった帰路は、追い風だから楽になると、意気揚々と出発。しかし、新たな障害が待ち受けていました。北浦の湖水が強風であおられ、堤防を走る私たちに向かって飛んでくるのでした。堤防を走るのは危険と判断し、集落内の道に変更。いつも記念写真を撮る水原の白鳥の里も今回はパスし、安全優先で自転車を走らせ、無事、豊津小学校へ着きました。

この苦しさを耐えて完走したことも、北浦浄化を願う心とともに、子どもたちの心に刻まれることを望みます。

証拠写真

| | | |
|-----|-----|--|
| 参加者 | | |
| 幼児 | 1人 | |
| 児童 | 19人 | |
| 成人 | 32人 | |
| 合計 | 52人 | |



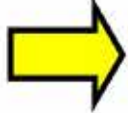
豊津小を出発



森の稲荷神社付近



コンビニで小休憩



逆風の中、堤防を走行



北浦大橋を渡る



白浜少年自然の家で昼食



湖面の波を受けながら



大生原公民館で休憩



豊津小に到着 閉会式

シークレット部隊 (バイク隊)

謎のニセ警官をボスとする、ライダークリケット。交差点の誘導など、安全にサイクリングが行われるよう、陰からサポートしている。

豊津小学校のOBであるとか、先生であるとか噂があるが、その実態は誰も知らない。(知りたくない)

手下の面々↓



今年も↑出ましたニセ警官

心地よい汗をかきました



5月15日、ト伝の郷運動公園で、ソフトボール大会を行いました。少し風が冷たかった中での開催でしたが、3チームずつの予選を勝ち上がったチーム同士での決勝の結果は、次の通りです。皆さん、お疲れさまでした。

- ★優勝：大船津第2区
- 準優勝：大船津第1区



▲優勝 おめでとうございます

日頃の練習の成果を発揮 高齢者スポーツ大会

6月3日、神野ふれあい公園で平成28年度高齢者スポーツ大会が開かれました。各部門とも、楽しみながらも熱い戦いを繰り広げました。上位の結果は、次の通りです。(敬称略)

★グラウンドゴルフの部

- 優勝 遠藤喜平(爪木)
- 準優勝 根本敏子(大船津)
- 第3位 黒須はる(大船津)



★輪投げの部

- 優勝 小沼義夫(爪木)
- 準優勝 大川昭二(新田)
- 第3位 小沼なみ(爪木)



★クロッケーの部

- 優勝 大船津A 藤枝洋子・郡司由一・郡司みよ子
- 準優勝 大船津B 浜田よし・荒野 昭・新信田浩一
- 第3位 新田B 青野 啓・青野静江・大川金作

熱戦の連続! ソフトバレー大会

★優勝 大船津D

(青野重寿・藤枝定夫・板倉将君和田誓子・佐藤紀子・藤枝瑠海)



6月12日(日) 豊津小体育館
参加者35名(女性18名, 男性17名)

五月十八日、豊津地区社会福祉協議会支援会議を開きました。

この会議は、豊津地区社協(うらら会)の活動を支援する目的で、関係団体や運営委員などが集まり、事業計画などを協議する会議です。その結果、今年度も、ふれあい食事会、ふれあい移動学習会、ふれあいクリスマス会などを中心に、豊津地区内の人暮らしの高齢者などが地域で楽しく過ごせるように事業展開していこうとなりました。

各種事業への協力者を募集していますので、ご協力いただける方はまちづくりセンターへご連絡ください。



▲熱心な審議に感謝

うらら会の活動にご協力を

いざという時に、水祖神様のお力で守っていただけるよう、普段から大事にし、信心の心を忘れないようにしたいものです。

毎年異常気象と言われる現在、日本や世界各国で様々な水害が発生しています。この豊津地区もその心配は同じです。

こうした豊津地区において、この水祖神は、水の大切さを反映し、川や水源地等の水を司る神様としてお祀りされています。

豊津地区は、北浦や鰐川に面しており、昔から水資源が豊富で、稲作を中心とした農業や、内水面漁業によって栄えてきた地域です。

その一方で、堤防が現在のようにしっかりと築造される前は、たびたび北浦が氾濫し、水の被害にあうなど、良きにつけ悪しきにつけ、水とは縁が深い地区であります。

豊津地区は、北浦や鰐川に面しており、昔から水資源が豊富で、稲作を中心とした農業や、内水面漁業によって栄えてきた地域です。

その一方で、堤防が現在のようにしっかりと築造される前は、たびたび北浦が氾濫し、水の被害にあうなど、良きにつけ悪しきにつけ、水とは縁が深い地区であります。

豊津地区は、北浦や鰐川に面しており、昔から水資源が豊富で、稲作を中心とした農業や、内水面漁業によって栄えてきた地域です。

その一方で、堤防が現在のようにしっかりと築造される前は、たびたび北浦が氾濫し、水の被害にあうなど、良きにつけ悪しきにつけ、水とは縁が深い地区であります。



水祖神様の安全を祈ります

かるためぐりシリーズ ⑬

今年度の区長さん

どうぞ、よろしくお願ひします。



- 写真上段(左から)
富山忠夫区長(大船津第二区)
坂本信二区長(大船津第一区)
山際正美区長(大船津第三区)
- 写真下段(左から)
野口幸男区長(爪木区)
大川直次区長(大船津新田区)

豊作を願ひ リトルファーム

今年度も、まちづくりセンターの一角でリトルファームが始まりました。

5月9日には84人(内、子ども41人)が参加し、とうもろこしと枝豆の種まきをしました。7月24日の収穫祭が楽しみです。

～参加者の感想～

- ・土堀は大変でしたが、種まきは楽しかったです。(1年 今泉結愛)
- ・「種まき、上手だね」とほめられ、うれしかった。(2年 松本小幸)
- ・畝作りや種まきは大変だった。収穫が楽しみです。(4年 山町詩音)
- ・野菜ができれば食べたいです。また、参加したいです。(4年 久野あい)



★ ぴよぴよ応援隊 ★

平成二十八年五月十九日(木)開催♪

今年度から、子育て支援の一環で、未就学児と保護者の方を対象にしたコミュニケーションの場を提供する事業が始まりました。第一回目は、リトミックを行いました。

♪音楽♪の流れる空間で、保護者と幼児が楽しそうに触れあっていました。この事業は、毎月第三木曜日に開催する予定です。内容としては、おしゃべりタイム、リトミック、手遊び、子育て講座などを実施していく予定です。どうぞ、お気軽にご参加ください。



歌って踊ろう♪

今回の開催は、7月21日(木)を予定していますが、かわら版「そよかぜ」でご案内します。奮ってご参加ください。

「横浜ベイウォーキングに参加して」

六月五日(土) 参加者二十九人

あいにくの雨の中、港が見える公園から外人墓地、元町公園を経由し、横浜港開港からある西洋館を見学しました。今でも優雅で気品のある素敵な建物と、手入れが行き届いた庭園は素晴らしく、古き良き横浜の雰囲気が残っていました。昼食は定番の中華街です。私は奮発して、ミニフカヒレランチを食べました。午後は、山下公園経由で赤レンガ倉庫までのコースをウォーキングしました。途中でドラゴンボートレースを観戦。最後は横浜ラーメン博物館で、佐野ラーメンを完食して、横浜を満喫しました。道中、道路の横断や、途中ではぐれないように気配りしてくれた公民館の皆さん、大変ご苦勞様でした。楽しい一日が過ぎました。(H)



つぶやき

今号から、「とよつだより」の紙質を変え、カラー印刷にしてみました。皆さん、いかがですか?他の公民館を参考にしたのですが、カラー写真はやはりいいですね。でも、写真の質が求められてしまいますね。経費ですが、驚くほど安上がりでしたから、ご心配なく。(K)

第 3 9 号

平成28年11月15日発行
一編集・発行一
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

とよつだより

地域と一緒に 笑顔をつなぐ 運動会

2016 スローガン 豊津小3年 平山 絢都 (あやと) 君

第11回とよつふれあい運動会



十月八日(土)、お天候様様が心配される中、「とよつふれあい運動会」が開催されました。十一時頃までは無事に競技が進みましたが、昼近くから本降りの雨となってしまい、午後からは体育館を利用してのイ

レギュラーな運動会となりました。しかし、多くの方が体育館へと移動していただき、グラウンドとは違った雰囲気での運動会を楽しみ、これもまた思い出深い大会となりました。

第十一回とよつふれあい運動会が、悪天候にも関わらず沢山の参加者をお迎えして、盛大に実施することができました。これもひとえに、実行委員と小学校関係者の皆さんのご協力のおかげと感謝申し上げます。地域の種目については、「あなたはだれ」という新種目を取り入れ、区長さん等の紹介も兼ねての大変楽しい競技となりました。今後も続けていければと思つた次第です。これからも小学校共催の一大行事として取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。



ふれあい運動会を終えて
まちづくり委員長 和田 勉



とよつふれあい運動会
大会長(校長) 大川 浩一

とよつふれあい運動会が、皆様のご協力のもと無事に終えることができました。お昼頃から雨が降り、プログラムの変更や、会場を体育館にするなどの急な対応にせまられました。混乱もなくスムーズに運動会が進行できました。こうしたことができたのも豊津地区ならではの思いやりです。地域の良さを感じた運動会でした。改めて、悪天候の中、運動会を最後まで終えることができたことに感謝しております。本当にご協力ありがとうございました。



▲今年のクイズチャンピオン優勝者は、大船津第1区の箕輪章さんでした。

運動会の一コマ



玉入れ



輪になって鹿嶋



年齢問わぬの玉手箱



完璧なバトンパス!



どうぶつにへんしーん



区対抗リレー



区対抗つなひき

競技結果

総合優勝 大船津第一

2位 大船津第三 3位 爪木A

(種目別)

| | | |
|--------|----------|----------|
| 玉入れ | 1位 爪木B | 2位 大船津第二 |
| | 3位 爪木A | |
| つなひき | 1位 大船津第一 | 2位 爪木A |
| | 3位 大船津第三 | 爪木B |
| 区対抗リレー | 1位 大船津第三 | 2位 大船津第一 |
| | 3位 新田 | |

【優勝区長コメント】

大船津第一区長

坂本 信次

第五回大会以来、

久々の優勝です。綱引きの優勝は予想外でしたが、この優勝は、選手集めに苦心してくれた町代、頑張った選手、応援の皆さんで掴んだものです。まさしく、無欲の勝利です。



新) あなたはだーれ?

囲碁・将棋・オセロ・健康マージャン・カラオケ・輪投げ・ダーツなどができます。

他にもグラウンドゴルフ教室、スポーツ吹矢教室、シルバーリハビリ体操等、計画しています。

十八年度新規事業
ふれあいサロン
でんえん
お気軽にご利用ください



孤独感の解消、認知症予防、自分の居場所、元気の源となる集いの場として、「ふれあいサロン でんえん」を本年度開設しました。

○利用できる日時(要申込み)
第二・第四火曜日九時~十七時

○場所
まちづくりセンター会議室・和室等



「参加者の声」
・わかりやすく、とても参考になりました。(大船津・中村さん)
・身近な話で、勉強になりました。(大船津・坂本さん)

あ〜 楽しかった! 葛飾柴又

9月28日、豊津地区まちづくり委員会とうらら会(豊津地区社協)の共催で「高齢者移動楽習会」を実施しました。

今回は、フーテンの寅さんで有名な東京・葛飾柴又を見学してきました。参加した39人は、帝釈天、寅さん記念館や仲見世巡りなど、思い思いに楽しい1日を過ごしました。

【参加者の声】

・高齢者にとって一人で遠くへの見学は無理なので、こういう機会を作ってくれ、楽しいひとときを過ごさせてくれた公民館とうらら会には感謝しています。(大船津・坂本さん)



寅さん記念館で
集合写真

いつまでも元気で! 健康で!

七月六日、高齢者教室を開催しました。今回は、「いつまでも元気でいられるために」と題した健康講座です。講師は、今年度、豊津まちづくり委員(地区活動推進員)として協力いただいている鹿浦小児科医院の内田二郎先生にお願いたしましたところ、快く受けていただきました。ありがとうございました。

講座の中で先生は、「精神面で孤独にならないこと」、「ストレスをためないこと」が大事と話していました。その予防として、身近な存在であるこのまちづくりセンターに積極的に足を運び、多くの人とコミュニケーションをとることが非常に良いと話しました。参加した三十九名は、先生の話にうなずきながら、講座の題名のとおり、元気でいられるためのポイントを確認していました。

かるためぐりシリーズ ⑩



見ざる 言わざるの
三猿導る青面金剛

「聞かざる 見ざる 言わざるの」

三猿導く 青面 金剛

「見ざる・聞かざる・言わざる」と言えば目・耳・口を両手で覆った日光東照宮の三猿が有名ですが、国外でも見られます。インドのマハトマ・ガンディーは常に三匹の猿の像を身に付け「悪を見るな・悪を聞くな・悪を言うな」と教えたときとされており、論語にも非礼勿(ぶつ)視・非礼勿聴・非礼勿言・非礼勿動「礼にあらざれば視るなかれ・礼にあらざれば聴くなかれ・礼にあらざれば言うなかれ・礼にあらざればおこなうなかれ」という一節があります。

三猿のモチーフは、庚申信仰の伝播とともに近世以降広く用いられるようになり、日本では各地に庚申塔や青面金剛像(夜叉神)に、「見ざる・言わざる・聞かざる」の三猿が添え描かれています。



瓜木(原町)にある水神様の敷地内にある青面金剛と三猿

安心して長生きできるまちを目指して ～敬老会～

9月18日、平成28年度の豊津地区敬老会が開かれました。今年度の敬老会は、75歳以上の方を対象とし、市全体で8,572名の方の長寿をお祝いしました。豊津地区では253名(男性107名・女性146名)が対象となり、白寿(99歳)が1名、米寿(88歳)が11名、喜寿(77歳)が18名いらっしゃいました。

敬老会では、白寿・米寿・喜寿の方々に記念品が贈られ、来賓の方々からのご祝辞、豊津小学校の子どもたちから作文の発表がありました。その後、敬老者のカラオケや踊りの披露、慰問グループ・サブちゃんによるお笑いショーなどがあり、参加された敬老者は食事をとりながら、談笑するとともに、ステージでの披露を楽しんでいました。



▲市長から記念品を受けた喜寿の方々

移動教室 in 日立

8月2日、日立シビックセンター科学館に行きました。見て、触る体験ができる施設という事で、思いっきり楽しんできました。



【参加者の声】

・プラネタリウムでペンギンのアニメを見た。かわいかった。海老沢 奏来(そら)くん 1年
・みんなとグルグル走ったりした。おもしろくて何度もやった。新橋 聖(にっばしこうき)くん 1年



▲ほたる学習会の様子

| | | | |
|-------|----|---|---|
| 〈参加者〉 | | | |
| 幼児 | 8 | 人 | 人 |
| 小学生 | 40 | 人 | 人 |
| 中学生 | 3 | 人 | 人 |
| 大人 | 32 | 人 | 人 |

きれいになった流川に数年前からほたるが現れるようになりまし。今年もその姿を見ようと大勢のキッズが集まりました。ほたるの見学の前に、カレーをいただき、ほたる学習会をして、流川にむかいました。今年はいにく少なめでしたが、それでも七匹のほたるを見ることができました。来年も多くのほたるが見られるよう流川の浄化に努めましょう。

ほたる見学会

七月二日

とよつキッズ



「とよつキッズ」とは、これから地域を担っていく豊津の子どもたちに、様々な体験の場を提供し、体験を通してこどもたちの成長を促していく事業です。



いいのが採れました



今年流しそうめんをしました

リトルファーム収穫祭

公民館の畑で育てたとうもろこしなどの野菜が実り、感謝を込めていただく収穫祭を七月二十四日に行いました。暑い中での収穫でしたが、その分美味しくいただくことができました。自分たちで育てた野菜の味は、また格別でした。

☆つばやき☆
今年リオで行われた、オリンピック・パラリンピック。我國の成績も素晴らしく、感動をもらいました。一方でパラリンピックは、選手が装着する補装具類に技術の違いがあるので、本当に平等なのかなの思いがあります。何はともあれ、次の東京が楽しみです。(郡司)

＊ノルディックウォーキングとは＊
ポールを使ってウォーキングするのの特徴です。効果的に歩けば、身体にある約90%の筋肉が使われるとのこと。ポールは、スポーツ店で購入できますが、使わなくなったスキーのストックがあれば、その先にゴムを付けてOK。身長×0.7位の長さが良いらしいです。公民館にも何セットか用意してありますので、ご使用ください。

ウォーキング楽しんでます

九月から十一月の第一土曜日の朝に、スポーツ健康教室(ノルディックウォーキング)を企画しました。九月は新田への約四キロのコースで行いましたが、参加者たちは景色を楽しみながら、いい汗を流しました。



第 4 0 号

平成29年3月15日発行
—編集・発行—
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

とよつだより

インフルエンザに負けないぞ！

第十二回

とよつかるた大会

一月二十九日八時三十分、暖かな日差しが射し込む豊津まちづくりセンターの玄関付近は人で賑わっていました。そこでは、第十二回とよつかるた大会の受付が行われていました。申込者が次々と受付を済ませ一方、欠席の方が結構出てきていました。最近はやり始めたインフルエンザにかかった子どもたちです。今回は第一回目のグループ分けは受付前に決めていたもので、グループの変更や、代理参加、当日参加の人もいて、担当役員は忙しく調整をしました。そうした裏方の苦労もあって、かるた大会は開始されました。

大会は例年どおり、未就学児、低学年、中学年、高学年の部、一般の部(五十九歳以下)、シニアの部に分かれて二試合の合計枚数で順位を競いました。各クラスとも熱戦がくり広げられ、低学年の部と高学年の部では同点順位が出て、「とよつ、の、こ」の五枚の札を使って決戦のかるた取りを行いました。一位から三位までが表彰を受け、一位の人は立派なトロフィーをいただき記念写真を撮ってもらいました。(詳しくは二面に記載)

かるたの後には、お餅つき、花餅飾りを行い、お腹が空いたところで、役員の方が作ってくれた、お雑煮、きな粉、あんこの種類のお餅をおいしくいただきました。

最後はクローカー場で大判かるた取りをして、かるた大会を無事終了しました。

参加してくれた子どもたち、大人の方々、そして大会運営に携わった役員の方々大変お疲れ様でした。



第12回 とよつかるた大会 入賞者の紹介 (1月28日実施)

- <幼児の部> 3人参加
 - 優勝 山町彩奈 (やままち さな) ちゃん
 - 2位 山町遥斗 (やままち はると) くん
 - 3位 君和田碧人 (きみわだ りくと) くん
- <低学年の部> 9人参加
 - 優勝 木村友香 (きむら ともか) ちゃん
 - 2位 浅間令央 (あさま れお) くん
 - 3位 土居琥珀 (どい こはく) くん
- <中学年の部> 12人参加
 - 優勝 山町詩音 (やままち しおん) さん
 - 2位 君和田菜歩 (きみわだ まほ) さん
 - 3位 君和田菜音 (きみわだ りお) さん
- <高学年の部> 4人参加
 - 優勝 山町美羽 (やままち みう) さん
 - 2位 小林綾華 (こばやし あやか) さん
 - 3位 君和田由奈 (きみわだ ゆな) さん
- <一般の部> 5人参加
 - 優勝 山町未来 (やままち みく) さん
 - 2位 木村憲子 (きむら のりこ) さん
 - 3位 山町浩信 (やままち ひろのぶ) さん
- <シニアの部> 7人参加
 - 優勝 君和田美智子 (きみわだ みちこ) さん
 - 2位 久保原茂男 (くぼはら しげお) さん
 - 3位 高木清 (たかぎ きよし) さん



「楽しかったです。練習は2回くらいしました。」
山町彩奈ちゃん



「前よりいっぱい取れて良かった。」
木村友香さん



「今年も優勝できて良かった。」
山町詩音さん



「1位になれて良かった。」
山町美羽さん



「2連覇できてうれしかった。」
山町未来さん



「今年も元気で参加できてよかったです。」
君和田美智子さん



とよつ「親子かるた」は、豊津まちづくりセンターで、1組千円で販売しています。



雨に悩まされた昨年とは打って変わって、今年の「第二十一回とよつまつり」は好天の下での開催となりました。(十一月二十日)

まつりでは、例年どおり、作品展示、模擬店、芸能発表などが行われましたが、今年は芸能発表の一環として、御神幸祭で町内の引き回しに使われていた山車の引き回しがお披露目されました(※山車については、次頁で説明)。

駐車場での野菜販売(とよつの八百屋)や模擬店、そして会議室の作品展示には多くの来客があり、模擬店などはお昼頃にはほとんど売り切れとなった店が多かったです。

午後からはお楽しみみの芸能発表があり、歌や踊り、演奏などの発表が行われました。この屋外特設ステージですが、毎年、地域の方が嗜好を凝らして手作りしてくれるもので、今年も業者が作ったがごとく立派なものでした。素敵なステージが、更に出し物を盛り上げていました。

最後は大抽選会で、豪華(?)な賞品が配られ、多くの人が模擬店で買った商品や抽選会の賞品を土産に、楽しげに会場を後にし、「第二十一回とよつまつり」は終了となりました。

盛大に開催
第二十一回とよつまつり

ワッシヨイ!!



豊津地区社会福祉協議会(うらら会)活動報告

★お腹もいっぱい！こころもあったか！

12月14日、高齢者を対象とした『ふれあいクリスマス会』がうらら会主催で実施されました。午前中は包括支援センターによる健康講話、大船津保育園園児の可愛らしいお遊戯、そして心のこもったお食事、午後からは豊津小児童の合唱、語りべの会のお話し、と盛り沢山の内容でした。



ところで、昨年7月に開催した健康講座で鹿浦小児科医院の内田先生が、「身近な存在であるまちづくりセンターで多くの人とコミュニケーションを取ることには非常に良いこと」と話されていました。

これからもスタッフ一同“温かいおもてなし”で多くの方のご参加をお待ちしています。

★茨城県社会福祉協議会長賞を受賞！

10月28日、第66回茨城県社会福祉大会が水戸市の県民文化センターで開催され、うらら会が茨城県社会福祉協議会長賞を受賞しました。



うらら会は平成17年に発足し、高齢者ふれあい食事会、移動楽習会、広報紙の発行など、一人暮らしの高齢者などが地域で楽しく過ごせるように各種事業を行っており、それらが評価されたものです。現在20名の会員で活動していますが、各種事業に協力いただける方を募集しています。ご協力いただける方は、まちづくりセンターへご連絡ください。



⑪ 霊験あらたかお薬師さま



⑫ 開かざる見ざる言わざるの三猿護る青面金剛

今年度二回目のレッツウオーキングは、一月八日、とよつ「親子かるた」で詠まれている場所を巡る「とよつかるためぐり」として行いました。まちづくりセンターを出発した十七人の参加者は、下表の順でかるたに詠まれている歴史に残る建物や場所を巡りました。とよつ「親子かるた」は、水鳥や植物なども合わせて四十六枚の札で構成されていますが、皆さんは詠まれている場所がどこにあるかわかりますか？時間がある時に、ぜひ歩いてみてください。(参加者の声)

(大船津・藤枝さん)

- ①一の鳥居
 - ②立ち恵比須
 - ③忠魂碑
 - ④森の稲荷
 - ⑤道祖神
 - ⑥最勝院
 - ⑦お薬師様
 - ⑧六地藏
 - ⑨熊野神社
 - ⑩松岡塾
 - ⑪青面金剛
 - ⑫極楽橋
 - ⑬大船津鎮守様
 - ⑭普渡寺
 - ⑮水祖神
- まちづくりセンター

豊津に山車がやって来た

前頁で紹介のとおり、今年の「とよつまつり」では芸能発表の時間に合わせ、大船津地区若連による山車のお披露目がされました。この山車は昨年まで桜町区が使用していたもので、桜町区が山車を交換したのを機に譲り受けたものです。上に日本武尊(やまとたける)が鎮座する山車は、田町から川岸町まで、そして四谷方面まで大船津地区を練り歩きました。揃いのはんてんを羽織った大船津地区若連有志のほか、経験ある桜町の若手や桜鈴(さくらね)下座連の応援もあり、山車の引き回しを盛り上げてくれました。まつり参加者からは、大きな拍手が送られました。まつり豊津地区で初の山車ということで、事前準備や道路使用許可から当日の長時間の引き回しなど、関係された皆さん、大変お疲れさまでした。そして、おめでとございました。



かるためぐりシリーズ (番外編)

レッツウオーキング『とよつかるためぐり』

みんな真剣に取り組みました ～ 豊津小学校と合同での防災避難訓練 ～



2月24日、豪雨による洪水発生を想定した防災避難訓練を実施しました。当日は、まず小学校で市の交通防災課職員から、この地域の避難場所や避難する際の注意事項、風水害から命を守るポイントなどの講話があり、続いて、防災に関するアニメ鑑賞をしました。その後、小学校を出発して国道51号の坂を上り、洪水時の豊津地区の指定避難場所の一つである鹿野中学校に向けての避難訓練をしました。訓練ではありますが、真剣に取り組みました。参加された皆さん、お疲れさまでした。



(参加者の声)

- ・子どもたちが映像を見ていた時の真剣なまなざしが印象的でした。(爪木・野口区長)
- ・高台に避難することを頭において、みんなと鹿野中までの坂道を歩きました。よい体験ができました。(新田・宮崎さん)
- ・避難訓練は何回やっても無駄なことはないので、これからも機会があれば参加したいです。(爪木・君和田さん)



親子それぞれに 楽しい時間を満喫 

5月から12月まで、未就学児とその保護者を対象にした「子育て支援事業・びよびよ応援隊」を新たな取り組みとして実施しました。

リトミック(体を通して音楽を楽しむこと)や手遊びなどを通し、それぞれの交流を目的にしたもので、全8回、会場の和室からは元気いっばいの声が聞こえました。



(参加者の声)

- ・リトミックや手遊び、絵本の読み聞かせなど、自由な雰囲気親子のびのびとすごすことができました。このような事業にまた参加したいと思います。(大船津・黒須さん)



行く年を締めくくる 楽学セミナー

12月27日、『華やかな年始を演出するフラワーアレンジメントを作る』と題して行いました。参加した11人は講師の説明を真剣に聞き、隣の人と配色や形などを比べながらも、できあがった自分の作品に満足していたようです。早速、自宅に飾って、無事華やかな新年を迎えた事でしょう。



(参加者の声)

- ・今年で3回目の参加です。花材は同じでも異なる生け方になり、奥が深いと思いました。ありがとうございました。(爪木・山町さん)
- ・先生の丁寧な指導で、正月を飾る豪華なフラワーアレンジメントに仕上がりました。心落ち着いた時間を過ごせました。(大船津・大川さん)

奥多摩の自然を満喫

十二月四日、『豊津ハイキング』として、東京都青梅市の御岳山(標高九二九m)に行ってきました。(参加者十九人)

歩く前、「往復ともにケープルカー利用なので、歩くのが物足りないのでは？」と話をした人もいました。急で長い上り坂や階段を目の前にし、それまでのお喋りもなくなり、必死の形相。しかし、息を切らしながらも、無事、山頂にある武蔵御岳神社に到着しました。帰りには多摩川沿いの遊歩道を三十分ほど散策し、清んだせせらぎの流れを見聞きたり、道の駅で買い物をしたりして、心身ともにリフレッシュしてきました。



☆ つぶやき ☆

今年度から全面カラー化した「とよつだより」いかかでしたか。平成二十六年度にB4二面からA4四面に変更し、今回カラー化と、「とよつだより」も大きく変化を遂げました。

編集部一同は読みやすくなったと自画自賛しておりますが、ご意見等ありましたらまちづくりセンターへお寄せください。

また、紙面以外でも、ホームページやフェイスブック(非公認)でも記事を出しています。インターネットの検索ページで「豊津まちづくりセンター」と入力すると、出てきますので、ぜひ試してみてください。

(英)

第41号

平成29年7月 1日発行
一編集・発行一
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

とよっだより

平成29年度もよろしく お願いいたします



北浦一周サイクリング タスキをつなぎました

29. 5. 6 (土) 快晴



今年度も楽しい活動を目指して
豊津地区まちづくり委員長 和田 勉
新たにまちづくり委員になられた方、そして継続していただいた方による活動が始まり、三カ月がたちました。専門部毎にスムーズに事業が実践されていることに感謝申し上げます。本年度は、これまでと同様の活動に加え、うららら会においての各地区単位でのサロン(お茶会)が加わり、協力という立場で参加することになっていきます。活動が多様化する中で、皆さんのアイデアをいただきながら、楽しくまちづくりを目指してまいります。よろしくお願ひします。

地域の人々に支えられ・・・
豊津まちづくりセンター長 高安広子
田園風景が一段と美しく感じられる季節となりました。日頃よりまちづくり委員会活動にご協力をいただき、地域の皆様に厚く御礼申し上げます。
今年度も、各専門部で幅広い年齢層の方々に、ためになること、心が満たされて生活できることを願いつつ各種事業がスタートしました。豊かな地域づくり、豊津の絆を深める一助となればと思っております。
地域の皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

豊津まちづくり
センターの
スタッフ紹介



今年度も、昨年度と同じ顔ぶれです。まちづくりセンターで、皆さんのお越しをお待ちしています！お気軽にお立ち寄りください。どうぞよろしくお願ひしまへす。

五月六日、「第三十五回北浦一周サイクリング」が行われました。

当日は、朝から日差しが強く、風も穏やかで、初夏を思わせる天候。開会式では、和田まちづくり委員長からこの事業の目的と経過の説明を、平賀校長先生からは「目標（ゴール）に向かって頑張ってください！」と激励の言葉を受け、鹿嶋市交通安全父母会の石田会長とは「交通ルール順守と安全走行」の約束をして、児童十六人を含む総勢四十人の参加者は、豊津まちづくりセンターを出発しました。

まず、鹿島神宮西一の鳥居前で集合写真を撮り、いよいよ三十八キロのコースへ。水田や北浦湖面から吹かれるさわやかな風を受け、順調にペダルをこぎ、北浦大橋を渡って、行方市の白浜少年自然の家で昼食休憩。栄養と休養をとり、午後は行方路を南下。途中、潮来市大生原公民館で休憩をし、水原の白鳥の里で集合写真。写真撮影後には、白鳥が出てきて児童たちを歓迎してくれました。

残り距離があとわずかになっても、みんなの足取りは軽やか。無事、神宮橋を渡ってまちづくりセンターにゴール！

閉会式では、箕輪礼子先生（本事業の創始者）から「これまで続いてきたこのサイクリングのタスキが、みんなのお蔭でまた一年つなかりました。みんなが大人になって、北浦が昔のように泳げるくらいキレイになることを願って、今後も続けていってください」と講評が述べられました。

参加者の皆さん、お疲れさまでした。また来年の参加をお待ちしています。

サイクリングスナップ



今年も激闘 ソフトボール大会



5月21日、卜伝の郷運動公園で、ソフトボール大会を開催しました。

腕に自信がある人もない人も、真剣そして愉快地楽しい時間を過ごしました。皆さん、お疲れさまでした。結果は、次のとおりです。

☆優勝：爪木A

★準優勝：大船津第1区



優勝した爪木Aチーム

高齢者スポーツ大会

こちらも熱戦

5月31日、日頃の練習の成果を発揮すべく、スポーツ大会を開きました。

結果は、以下のとおりです。

★グラウンドゴルフの部

優勝：秋竹千代（大船津）

準優勝：黒須はる（大船津）

第3位：小室タミ（大船津）

★輪投げの部

優勝：小沼義夫（爪木）

準優勝：小室タミ（大船津）

第3位：郡司みよ子（大船津）

★クロッカーの部

優勝：大船津B（浜田よし、新信田浩一、荒野昭）

準優勝：新田A（内田勝男、大川昭二、吾妻せつ）

第3位：大船津A（大川みさ、郡司みよ子、郡司由一）



※敬称略

地域福祉の向上を目指し ご協力を！

五月十七日、平成二十九年豊津地区社会福祉協議会（うらら会）支援会議が開かれました。会議には、まちづくり委員会役員をはじめ、関係団体や運営委員などが集まり、今年度のうらら会の事業展開について意見交換をしました。

その結果、①ふれあい食事会、②ふれあい遠足、③ふれあい移動楽習会（まちづくり委員会の「高齢者移動教室」との共催）、④ふれあいクリスマス会、と例年どおりの事業を実施するほか、今年度から新たにサロン（お茶会）を実施することにしました。

新たに取り組むサロンですが、既にかわら版『そよかぜ』でもご案内のとおり、今年六月から、地区の皆さんが集い、お茶を飲みながら、おしゃべりや健康体操などをするものです。地域の方々の『元気の源になる憩いの場』を目指して、大船津・新田・爪木のそれぞれで開催していきます。なお、地区により、開催日時や場所、名称が異なりますので、ご注意ください。

なお、うらら会の活動にご協力いただける方を、随時募集しています。ご協力いただける方は、豊津まちづくりセンター（☎八三・五六八〇）へお気軽にお問い合わせください。どうぞよろしくお願います。



新田



爪木



かいつぶり遊びし
肥よくの地

かるためぐりシリーズ ⑩

皆さんは、「かいつぶり」と聞いて何のことかピンとききますか？

でも、「むぐつちよ」と聞けば、ピンとくるのではないでしょうか。北浦や鰯川にいる小さな水鳥で、水面に潜っては餌を捕っている姿が目につかぶでしょう。そう、「むぐつちよ」とは「かいつぶり」の茨城（このへん？）の方言なのです。

かいつぶり目かいつぶり科かいつぶり属に分類され、全長約二十六センチメートルと、日本のかいつぶり科の中で一番小さい鳥です。主に水上で生活しており、あまり飛ばないのですが、飛ぶ時は水面を蹴って助走した後、低く飛びたちます。鳴き声は、キリッキリッ、キリリリと鋭く、警戒時にはピツと強く短い鳴き声を発します。

昔は数多く見られた「かいつぶり」ですが、北浦の水質悪化や、「かいつぶり」のひなを餌とするオオクチバス（通称ブラックバス）やアメリカナマズなどの増加などにより、今は見られる数が減ってきています。

ひと昔前のように、北浦や鰯川で、「あつ！むぐつちよがいた」「えー、どこどこ？」といった会話が、頻繁に聞かれるようになるといいですね。

今年度の区長さん

どうぞ、よろしくお願ひします。



- 写真上段(左から)
大船津新田: 布施二一夫区長
大船津第2: 箕輪良一区長
大船津第3: 篠塚行雄区長
- 写真下段(左から)
大船津第1: 坂本仙一区長
爪木: 君和田正美区長

豊作を願ひリトルファーム

6月4日・晴



立夏の6月。豊津の皆が、美味しい芋作りに集まりました。楽しい収穫を想像しながら丁寧に土作りをし、生命力いっぱいの芋苗を大切に大切に植えました。

リトルファーム体験は、土で汚れたり、土の中の昆虫を発見したり、自然とのつながりが新鮮です。手作りのカラス避けのカカシも活躍することでしょう。今年は、86人(うち子ども38人)の参加がありました。苗植えの後は、恒例の美味しいカレーをいただき、心も胃も満足しました☆無事、沢山の収穫ができますように!!



歌や音に合わせて 親子でのびのびと

昨年度から始まった子育て支援事業『ピヨピヨ応援隊』ですが、今年度は全四回、すべてリトミックを予定しており、第一回は五月十八日に、六組の親子が参加して実施しました。

先生の「強制はしないので、自由に伸び伸びと楽しんでください」というあいさつで開会。ピアノや歌、トライアングルや太鼓、鈴の音を聴きながら、それに合わせての手遊びや手作りのマラカスを振ったり、お母さんに「高い、高い」やブランコ、ロケットをしてみたりして、とてもうれしそうでした。あとからあとから休む間もなく出てくる聞き覚えのない歌や音への反応に、小さい子どもたちもひたむきに取組んでいました。「お母さんが楽しんでると、子どもも楽しくなります。まずは、お母さんが楽しむことです」という先生の言葉がとても印象的でした。

今年度の『ピヨピヨ応援隊』の実施は、五・七・九・十一月の第二木曜日を予定しており、今回は七月二十日です。かわら版『そよかぜ』でご案内をしますので、たくさんの方の参加をお待ちしています。



楽しい時間はあっという間に



鎌倉ハイキングに参加して

六月三日 二十九人参加

「歴史的遺産を持つ武家の古都鎌倉」と、北鎌倉駅から出発。紫陽花で有名な明月院を見ながら浄智寺・源氏山へ、上り下りの散策でしたが、意外に涼しく軽快に歩きました。途中で富士山も見えて得した気持ちに。また、心配した化粧坂切通の傾斜も無事降りられ、寿福寺では岩山をくり抜いて作った実朝、北条政子のお墓や別に立っている頼朝の墓を拝観しながら鎌倉の森林浴を楽しみました。小町通りは相変わらずの人混みで、圧倒されながらも、大好きな買物と鎌倉御膳の食事に満足しました。



今回のコースは、一部険しい所があるため、館長や役員の皆さんが下見をして天候にあったコースの決定をしてくれました。役員の皆さん、いろいろな気を使っただけ、お世話になりました。

つぶやき

夫の単身赴任先で、ゴミの分別の細かさにビックリ。ラップを例にとると、きれいなものは「プラマークのごみ」、使用済みのものは「不燃ごみ」。夫は、分別表にらめっこ。新生活が始まった皆さん、慣れない生活で大変でも『為せばなる』。あれから三カ月、夫は新生活にも慣れ、キラキラしています。(S)

第 4 2 号

平成29年11月15日発行
— 編集・発行 —
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

とよつだより

学校と地域がつなぐ運動会



十月八日、第11回とよつふれあい運動会が実施され、児童の一生懸命な競技・演技、地域住民による対抗種目・自由参加種目など、それぞれに楽しい時間を過ごしました。区対抗は、爪木区Aが一年ぶりに優勝を飾りました。

ふれあい運動会を終えて

▲大会長(豊津小校長)▼ 平賀康意
十二回を数える「とよつふれあい運動会」が天候にも恵まれ、鹿嶋市長はじめ多数のご来賓をお迎えし、保護者や地域の方々とともに盛大に挙行することができました。午前中は児童を中心とした種目を、午後には児童も参加する地域の種目を行い、学校と地域が一体となって楽しむ運動会は、豊津地区の大きな行事の一つです。一日中、温かい応援と惜しみない拍手が、校庭に響き渡りました。今後も、末永く続けたい行事でした。

▲まちづくり委員長▼ 和田 勉

地域の皆様にアンケートを実施するなどして、数年かけて実施にこぎつけた「とよつふれあい運動会」も第十二回目となりました。先人の役員の皆様のことが、とても感慨深く思い出されます。
一日順延したお陰でお天気に恵まれ、とても良い環境で実施できました。運動会が学校関係者、運動会実行委員、子どもたち、地域の皆様のご協力のお陰で成功裡に実施できましたことを感謝申し上げます。ありがとうございました。

< 成績 >

- 優勝 **爪木区A** 160点*
- 準優勝 **大船津第3区** 160点*
- 3位 **大船津新田区** 140点*
- 4位 **大船津第1区** 140点*
- 5位 **大船津第2区** 100点
- 6位 **爪木区B** 80点

*同点の場合、リレーの順位で決定

今年の運動会を写真で振り返り



【左列・上から順に】元気いっぱい「開式のことば」・「選手宣誓」、児童種目に『顔なし』が登場、低学年児童も楽しく競技、今年も素晴らしい演技だった高学年児童の「組体操 2017」
 【中列・同じく】天高く「玉入れ」、「ト伝新当流」見事な剣さばき、力が入った「つなひき」、微笑ましい「どうぶつにへんし〜ん」、今年の「クイズチャンピオン」は豊津小4年の柏葉君
 【右列・同じく】自由参加の「おぼけのQちゃん」にはおぼけ(?)も参加、メイン種目の「区対抗リレー」は新田が逆転勝利、それぞれの優勝杯授与(紅白対抗・子ども会対抗・区対抗)

ソフトバレーボール大会

7月2日、豊津小学校体育館で、豊津小教員チーム、公民館チームを含めた7チーム(計33人)が優勝を目指して頑張りました。

- ★優勝：大船津Bチーム
- ★準優勝：大船津Aチーム
- ★3位：大船津Cチーム



参加者の皆さん、お疲れ様でした！ケガもなく、心地よい汗をかき、バレーを満喫した大会でした♪



神宮へレッツウォーク！

6月24日、今年度1回目の「レッツウォーキング」を実施しました。

今回のコースは、鹿島神宮の往復(約7km)。神宮では、夏越の大祓の「茅の輪くぐり」を体験し、鹿園や要石を経て、御手洗池へ。さわやかな天候の下、心地良い汗をかきました。

【参加者の声】

・普段は車での移動が多く、宮下にト伝の像があるのは気づけなかった。参加してよかったです。(爪木・Eさん)



収穫の秋

さつまいも・稲刈り

リトルファーム

六月四日に植えたさつまいも。皆でせっせと雑草を抜き、手作りの案山子がカラスを追っ払い、すくすくと育ちました。

十月十五日に予定していた収穫祭は、あいにくの雨となり、芋掘りはできませんでした。とよつまつりですつまいもステイックとして販売する予定ですので、お楽しみに。



キッズ稲刈り

九月四日

今年度は稲刈りに挑戦。初めて稲刈り体験した子どもも多かったようです。毎日食べているご飯がどのようなか、いい勉強になったでしょう。



キッズ

移動教室

七月二十八日、東京都水の科学館・アクアシティお台場・フジテレビに小学生十八人、大人十五人で楽しく行って来ました。

水の科学館では、何も疑うことなく自由に使っている水がどうやって生まれるのか、どうやって家まで届くのかなどを学び、水の不思議と大切さを再認識してきました。



かるためぐりシリーズ ⑱



夕日、燃ゆる
映える 北浦

夕焼け空をバックに対岸の行方台地へ沈む夕日。北浦にその姿を映し、赤く染める光景は美しいものです。夕日はどことなく寂しい気分になったりもしますが、一方で、日中の太陽と比べて大きく見え、雄々しさを感ぜさせるものです。ところで、なぜ夕日は日中の太陽と比べると大きく見えるのでしょうか。当たり前前かもしれないですが、太陽は同じ大きさです。理由は明確ではありませんが、目の錯覚で大きく見えるそうです。

太陽の光は、赤・だいだい・黄・緑・青・あい・紫の色から成り立っています。夕日は昼間の光よりも空気の層を長く通ってきます。すると、空気中のちりや水蒸気につっかり、多くの光が散らばります。その中でも、赤い光はあまり減らないので、赤く見えるそうです。

科学的に分析すると何だか味気ないものになってしましますが、美しい夕日に感動して涙するなんて場面をドラマなどで見たりするなど、幻想的な光景は、人の心の琴線に触れるものがあります。夕日が出ると明日は晴れることが多いといわれています。北浦の堤防に出て、夕日を見ながら心を癒し、明日への活力をたっぷりいただきたいですね。

～敬老会～

9月17日

今年の敬老会は、台風18号の影響を心配しましたが、75歳以上の対象者のうち、80人の方が参加され、楽しく心ませながら開催されました。

今年は、爪木の小沼温さん(代理)が100歳を迎えられ、国・県・市から記念品が贈られたほか、米寿・喜寿を迎えた方に記念品が贈られました。その後、児童による作文発表やアトラクションもあり、アツという間に時間が経過しました。皆さん、これからも健康を気遣い、楽しく過ごしてください。



★ほたる見学会★

7月2日



今年のほたる見学会には、102人(内、こども62人)

という多くの参加者がありました。



文化福祉専門部の皆さんが作ってくれた美味しいカレーでお腹を満たし、会議室でほたるの学習をした後、流れ川での自然観察に出発しました。

悪天候により1日順延しての開催でしたが、数匹のほたるを見ることができ、皆さんの心に夏の思い出深い1ページが刻まれたことでしょう。



知つとく！納得！糖尿病(八月五日)

市の保健師と管理栄養士から、『糖尿病』について話を聞きました。糖尿病は、過剰な栄養摂取による肥満や運動不足などが主な原因とされており、血糖値を下げるすい臓のインスリンホルモンの働きが悪くなり、血液中の高血糖が続く状態になった結果、糖が血管を傷つけ、網膜症や腎症、末梢神経障害、動脈硬化を引き起こすとのことでした。

そうなる前に大切なことは、①肥満にならないように運動を、②バランスの良い食事を、③早期発見できるように年に一回の健康診断を、だそうです。

なお、栄養ドリンクやスポーツ飲料にも多くの糖分が含まれているそうです。カロリー摂取に注意しましょう。

【参加者の声】ためになる話が聞けて良かったです。太りすぎや食事のバランスに気をつけます。(大船津・長洲さん)

高齢者移動学習でひたち海浜公園へ(十月十九日)

あいにくの雨でしたが、三十二人の参加でバスは出発しました。車中は楽しく会話が弾み、あつという間に国営ひたち海浜公園に到着。シーサイド・トレインで園内を観光し、赤く染まったコキアの絶景をバックに記念撮影。お昼は那珂湊おさかな市場に移動し、海鮮丼や回転寿司等、各自自由に食事をとり、海産物の買い物も。その後、お菓子夢工場・亀印で吉原殿中の作成実演を見学&試食して買い物を楽しみました。皆さんからは、「この季節にしか見られないもの、そして新鮮な食材を堪能できて、雨でも楽しめました」という感想も聞かれました。高安館長からの名言『晴れもまたよし、雨もまたよし』の言葉のどおり、素晴らしい移動学習になりました。



スポーツ健康教室 楽しく開催中

今年度のスポーツ健康教室は、全四回を予定しており、一回目は佐原の「小野川ウォーキング」に行ってきました。

九月十六日、電車で佐原に移動し、諏訪神社などの社寺や山車会館、造り酒屋などを見学。小野川沿いを自由散策するなど、小江戸・佐原の街並みを楽しみました。

二回目は、十月二十八日、「ボウリング大会」を実施。まちづくり事業として初の試みでしたが、参加者は一投ごとに球の行方、ピンの動きに一喜一憂し、ボウリングを楽しみました。

三回目は、十二月に「神の道ウォーキング」を、最終四回目は来年の一月に開催を予定しています。かわら版「そよかぜ」で案内しますので、多くの方の参加をお待ちしています。



◆◆◆つぶやき◆◆◆ 体もガタがきます。人も車同様点検が必要ですが、あまり痛みがない、面倒くさい等で通院しないことが多いです。最近、身近で不幸がありました。定命(じようみょう)と言っては悲しいのですが、日頃から体の整備・点検をしてください。(H)

第 4 3 号

平成30年 3月 1日発行
— 編集・発行 —
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

とよつだより

第十三回

とよつかるた大会

一月二十八日 連日の厳しい寒さから一転、温かな陽のさす好日に、毎年地域のみなさんが楽しみにしている「第十三回とよつかるた大会」が行われました。インフルエンザの大流行が懸念されている時期ではありましたが、四十八人も参加があり、盛大に開催することができました。

かるた大会は、幼児、小学生低学年・中学年・高学年、一般、そしてシニアの部に分かれ、二回かるた取りを行い、その合計枚数で順位を競います。

子どもたちも大人も我を忘れての大熱戦！豊津みんなで盛り上がり、笑って楽しいかるた大会になりました。

かるた取りの後は、餅つき体験をし、紅白のお餅で花餅飾り、美味しいお餅でお腹を喜ばせました。お腹が膨れた後は、食後の運動としてクロッケー場で大判かるた大会を楽しみ、楽しい一日を満喫しました。

毎年そうですが、今年も準備から始まり、当日の進行や裏方でご協力してくれた方々のおかげで、無事、かるた大会を終了することができました。皆さん、本当に感謝します。お疲れ様でした。

第22回 とよつまつり



とよつのトトロ

平成二十九年十一月十九日開催
※2面に関連記事があります



かるた大会の結果は
2面にあります

第13回 とよつかるた大会 入賞者紹介

★幼児の部 2人参加

優勝 浅間柚羽(あさま ゆずは)ちゃん
2位 鬼澤由衣(おにざわ ゆい)ちゃん



たくさん取れてうれしかったです♪



2年生に勝ててうれしかったです!

★中学年の部 11人参加

優勝 君和田菜音(きみわだ りお)さん
2位 立野美紅(たての みく)さん
3位 木村文香(きむら あやか)さん



うれしいです♪



優勝できると思ってなかったのでもううれしかったです!

★一般の部 8人参加

優勝 山町浩信(やままち ひろのぶ)さん
2位 太田賢登(おおた まさと)さん
3位 山町未来(やままち みく)さん



昨年の優勝者(妻)に勝てて良かったです!



今年も優勝できました! 来年も頑張ります!

★低学年の部 13人参加

優勝 山町彩奈(やままち さな)さん
2位 木村友香(きむら ともか)さん
3位 浅間令央(あさま れお)さん

★高学年の部 6人参加

優勝 山町詩音(やままち しおん)さん
2位 君和田菜歩(きみわだ まほ)さん
3位 柏葉龍穂(かしわば りゅうほ)さん

★シニアの部 8人参加

優勝 君和田美智子(きみわだ みちこ)さん
2位 藤城まさ(ふじしろ まさ)さん
3位 柏葉秋穂(かしわば あきほ)さん



⑤ 昨年の11月19日、晴天の下、「とよつまつり」が行われました。恒例の作品展、模擬店、演芸発表等が催され、多くの方々が楽しい時間を過ごしました。



第二十二回とよつまつり



①復活した提灯 ②力作ぞろいの作品展
③君和田武さんの熱唱 ④水田風南(みずたななみ)さんの津軽三味線 ⑤豊津大正琴クラブの名演奏 ⑥まちづくりセンター事業をDVDで紹介 ⑦2020東京オリンピック成功を祈念 ⑧「男の料理」の面々が美味しいカレーをつくってます ⑨よーく狙って!(模擬店の射的)

楽学セミナー

華やかな年始を演出する“フラワーアレンジメント”

12月27日(水)、講師の小泓明美さんの丁寧な指導のもと、10名の参加者がフラワーアレンジメントを体験しました。

同じ花材を使用したにも関わらず、各自個性的で素晴らしい作品に仕上がることが出来ました。



気忙しい時期の事業でしたが、参加者は真剣にお花と向き合い、かつ、ゆったりとした時間を楽しんでいる様子でした。

〈参加者の声〉

・講師の分かり易いアドバイスで自分なりの作品に仕上がりました。有難うございました。(爪木・君和田さん)

和田委員長登壇 in市民大会

地域活動に求められる
新たな視点と社会教育

2月4日に行われた「第15回鹿嶋市まちづくり市民大会」において、『こどもが集うまちづくり(公民館)活動を考える』という内容で、和田委員長が提案発表を行いました。



また、シンポジウムにもパネリストとして参加し、日ごろのまちづくり活動で培った意識に基づき、積極的に発言をしてみました。

新春ウォークで新発見!

一月七日、今年度のレッツウォーキング第二弾として、「とよつかるためぐり」を行いました。コースは、豊津まちづくりセンターを出発し、大船津新田の地蔵院、鹿野中の簡易水道施設跡、大船津鎮守様、子安様、一の鳥居を巡ってセンターへ戻る約五キロのコースでした。

参加者は子どももあわせて十九人でしたが、「地蔵院や子安様は初めて来た」、「簡易水道があったことを知らなかった」など、新たな発見が多いウォーキングでした。まちづくりセンターでは、とよつかるたの解説本を用意しています。時間がある時、解説本を片手に地元巡りをしてみたいかがでしょうか?



① 理想郷
創ろう地蔵院



② 念願の
鹿野町最初の
簡易水道



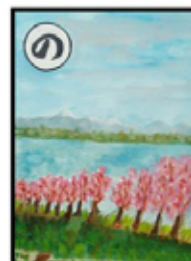
③ 迎える灯
炎える大船津の
常夜灯

新田は昔、神野新田と言ひ、先達者が開拓した新天地です。大船津側にある地蔵院は、新田の集会所ともなっています。文化財でもある新田舞も、この地蔵院が中心になって行なわれました。

昔、大船津の飲料水は、流れる川に頼っていました。変化により、昭和三十三年に地下水管による簡易水道が完成しました。普及しても、昨夏まで供用されていきました。

水運が盛んな頃、大船津は水上交通の要衝であり、川辺には常夜灯が焚かれていました。その常夜灯も、旧神宮橋の建設により撤去され、現在は大船津鎮守様に移ります。

かるためぐりシリーズ ⑧



④ のびやかに
花見夢見る
土手桜

豊津まちづくりセンターの下から新田方面への鰐川堤防、約八〇〇メートルにわたって桜の木が植えられているのはご存知ですよね。これは、二〇〇二年サツカーワールドカップ開催を記念した「桜の郷づくり事業」の一環として植えられたものです。

それ以前も昭和五十年代まで大船津の鰐川堤防には、見事な八重桜があり、春には優雅な花見が出来ましたが、桜の木の寿命と治水事業(堤防工事)により撤去されたとのことです。その後、前述の「桜の郷づくり事業」により、市内の公園や沿道と共に、この堤防にも地区の皆さんのご協力によって桜の苗木が植えられ、現在に至っています。

さて、土手桜の本来の目的は「治水」だったということをご存知でしたか。土手は保水するので、その水分が冬場に凍結。春に溶けて土手に空洞ができ、それにより強度が下がり、決壊の原因となりました。桜の根が土手強化にちょうど良い長さである、花見の人たちで地面が踏み固められる、などの理由もあり、土手に桜が植えられたとのことです。場所によって成長に差はありますが、大きく成長し、昔懐かしい花見の名所になることを望みます。

小学校と地区住民合同の 避難所生活体験

<11月24日>

豊津まちづくりセンターを会場にして、豊津地区住民と豊津小児童・保護者・職員(総勢118名)が参加し、災害が起きた場合を想定しての『地域連携による避難訓練』を実施しました。

始まりの会では、校長先生の貴重なお話に続き、高安センター長から、平成23年3月11日の東日本大震災で、数日間に渡って避難所となった豊津まちづくりセンターの状況の話がありました。

その後、非常食作りや、新聞紙を使つてのスリッパ作り、防災に関するアニメ鑑賞をしました。

終わりの会では、和田まちづくり委員長、地域環境部員である区長さん方の話を聞きました。

ここ数年、毎年のように地区と小学校の合同防災避難訓練を実施していますが、このような訓練を繰り返す事で、『自分の命は自分で守る』という大切な事が胸に刻まれていると思います。参加者みんなの熱心さが伝わった生活体験でした。

※東日本大震災時…豊津まちづくりセンターに10人以上が避難



▲(上)始まりの会で熱心に話を聞く参加者、(中・下)スリッパ作り

ふれあいクリスマス会 ~豊津地区社会福祉協議会(うらら会)~

地域の高齢者60名参加 保育園児、小学生との交流

<12月14日>

毎年、うらら会の行うクリスマス会は、地域の高齢者が楽しみにしているイベントです。

かしま西包括支援センター職員から健康のための話を聞いた後は、大船津保育園園児の精一杯の可愛い演技、お昼は会話を楽しみながら心のこもった食事を美味しくいただきました。午後は豊津小児童の元気いっばいの合唱があり、参加者は心癒されました。最後に小学生がチームに分かれて6人の児童を変装(お父さん、お嫁さん、お母さん、祭頭祭)させるというゲームで、会場は大いに盛り上がりました。これからの未来を創っていく子どもたちと一緒に、笑顔の絶えない時間を過ごし、素敵なふれあいクリスマス会になりました。



◆◆つぶやき◆◆
子どもが就職し、給料口座から家賃、光熱水費、スマホ代等が引き落とされ、買い物したら残金は微々たるもの。しかし、そこから貯金も。ちよつと心配しましたが、もうすぐ一年となり、積立もほんの少しですが増えてきました。毎月わずかな額でも、千里の道は一歩から。この調子で結婚資金も。でも、その前に相手を見つけないとね。
今年度も皆様にお世話になりました。広報部員一同、感謝申し上げます。晴



▲明石地内の庚申塔
▼神向寺の楼門



スポーツ健康教室③ 神の道ウォーク
二月三日、波野地区の名所旧跡を巡る「神の道ルート3『降臨の里』」の一部(約五キロ)を歩きました。
コースには、百基の庚申塔や姫の宮、東の一の鳥居、放光院、神向寺があり、それぞれの解説文を読みながら、あらためて鹿嶋の歴史の奥深さを実感してきました。(十三人参加)
(参加者の声)
・こんなところにこんなものが、と知らないことがたくさんあり、勉強になりました。(新田・Oさん)